音のコンビネーションプレー

2ウェイ・4スピーカー(12cmウーハー×2＋5cmツイーター×2)からあふれ出す、出力3.8W(EIAJ/DC)のステレオサウンドは、高音と中・低音のコンビネーションサウンド。



音が広がるステレオサウンド

ステレオ パディスコ5280 ¥44,800

TRK-5280

いい音はステレオで鳴らしたい

ステレオサウンドを支えるメカニズム

- より音の広がりを感じるステレオ(マトリックス)方式
- クリアな音を再生するITL・OTL回路
- FM放送が冴えるFMマルチ回路内蔵
- ラウドネス回路で音のバランスを自動補正
- FMワイドバンド(76～108MHz)帯採用
- (クロム/ノーマル)テープセレクター採用
- 専用外部スピーカー(別売りAPS-80 2本セット¥11,800)接続可能
- FM/AM2バンドラジオつき
- 大きさ幅42.2×高さ23.3×奥行11.7(cm)
- 重さ4.7kg(乾電池含む)
- キャリングケース(別売りL-5280¥4,000)

品質を大切にする〈技術の日立〉

HITACHI CASSETTE RECORDER

HITACHI

★「日立カセットレコーダーの保証書」は、必ずお受けとりください。お買い上げの際に販売店名、ご購入の年月日が記入されているかをお確かめになり、大切に保存してください。

★カタログ請求は、〒105東京都港区西新橋2-35-6 第3松井ビル 日立家電販売株式会社宣伝部パディスコ係へ。

★カセットレコーダーで録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

日立家電販売株式会社 〒105 東京都港区西新橋2-15-12(日立愛宕別館)TEL(03)502-2111

日立クレジット株式会社 〒105 東京都港区西新橋2-15-12(日立愛宕別館)TEL(03)503-2111

世界選手権アジア予選

いまだに正式日程決まらず

第9回世界男子選手権Aグループ（53年1月26日～2月5日・デンマーク）のアジア大陸代表を決める予選会は、その後いっこうに進展がなく、日本協会は、当初準備した決勝戦の体育館（10月21日大阪、23日神戸）を確保したまま困惑の表情である。

アジア予選は、今春4月30日のエントリー〆切り時点で日本、クウェート、サウジアラビア、台湾の4ケ国が届け出、1回戦の組み合わせとして、IHF（国際ハンドボール連盟）は、日本×台湾（台湾で開催）、クウェート×サウジアラビアを決め、その勝者による決勝戦を10月21、23日日本で開くことで、大筋の決定をみていた。

ところが、6月末、クウェートが参加を取り消したことから、話がもつれはじめた。

IHFは、残る3カ国を10月12日から18日まで台湾に集めて、2回総当りで代表を決めることに運営方法を変更、この予選の組織・管理責任者である渡辺和美IHF理事（アジア選出）によれば「3カ国とも変更案に同意した」のだが、本誌〆切りの8月25日現在、IHFから日本協会あて正式文書はとどかず、「はたして"変更案"どおりに行われるのかどうか見当がつかない」（境井秀三国際渉外担当常務理事）という。

旅費問題からむサウジ

□……IHFの発表が手まどっているのは、台湾側が宿舎の確保で難行、IHFに対し3カ国リーグの開催をまだ正式に承諾していない、とするみかたと、サウジアラビアが、いったんは、変更案を認めながらも、最近になって「クウェート戦の不戦勝」を主張、日本での決勝を要求しているのではないか、との二つのみかたがある。

特に、サウジアラビアは、日本開催の場合は、本誌既報どおり、旅費（航空賃）の2分の1を日本協会が負担することになっていたもので、これが台湾集結になると全額サウジアラビア持ちとなる事情がからんでいる。

□……変更案を示された時、日本協会では「サウジアラビアがすんなり台湾行きをのむとは思えない」とみていたのだが、渡辺理事は「その場合は、サウジアラビアを棄権扱いにする」と強気な姿勢。

このままでは雲行きがあやしくなる一方で、9月なかばまでもたつくという懸念も強い。

遅すぎるIHFの指示

□……ところで、日本協会は、この時期になって再び、サウジアラビアとの決勝をもちこまれても、準備期間がなく、同国の旅費（半額）を受けもつだけの収入はとても見込めないとして、早々と拒否反応を示しているが、IHFからの正式通達がないため、体育館は予約状態のまま。

また、日本リーグも後期第2週としてすでに10月22、23の両日、男子4試合が組みこんでおり、アジア予選(決勝)が来るようだと、混乱を招くことになる。

□……もともと、IHFは来年に世界選手権を開くことが判っていながら、アジアをはじめアフリカアメリカ各地域に予選会の指示を出すのが遅すぎた。

日本協会でも6月の全国理事会で、この点をつく発言があり、このまま宙に浮いたような状態がつづくと、IHFや渡辺理事への風当りが強まろう。

来年11月の第6回世界女子選手権についても、当然、アジア予選を開かねばならないが、なんの音沙汰もなく、今回の二の舞になりかねない。

アジア――IHF、日本協会――渡辺理事といった話し合いを、いちどすべきではないか。（S）

代表選手は10日に決定

強化委員会は、8月24日午後東京渋谷の体協で、初の強化コーチトレーニングドクター、総務部門の代表者連絡会議を開き、世界選手権アジア予選に出場する全日本チームのメンバーを9月10日の常務理事会に提出し、承認を求めることを決めた。

予選を勝ち抜いた場合、来春の世界選手権に出場するメンバーについては、改めて選考しなおされる予定だが、コーチングスタッフはフルエントリー（選手16名）を強く要望している。

男女全日本初合宿

「一九八〇年代にメダルを」というスローガンのもとに、若手登用の色を強く打ち出した新・ナショナルチーム（男18、女23＝本誌154号参照）の初合宿が、男子は7月21日から女子は7月24日から名古屋市で行われ、ともに、当面の目標である来年の世界選手権と、3年後のモスクワオリンピックに向かって、力強い第一歩を踏み出した。

「ハンドボール」

52年9月号（第156号）目次

【表紙写真】全日本高校選手権決勝・下関中央工(山口)×氷見（富山）戦、優勝した下関中央工の攻撃。（8月7日・山口高）
中国新聞社提供

下関中央工、逆転で連続優勝
小松市女、前半の優位守る

炎天下の熱戦　全日本高校選手権

全国一、七四一校の頂点に立ったのは男子が昨年と同じ下関中央工(山口)、女子が小松市女(石川)、だった――第28回全日本高校選手権は山口市糸米の山口高校で8月1日開始式のあと、2日から7日までの6日間、各地の激しい予選を勝ち抜いた男女各49校によって炎天下、熱戦を繰りひろげた。

男子は、史上初めて一千校を突破した勢いそのままに、たくましい若さの激突となったが、決勝は昨年と同じ下関中央工×氷見（富山）の顔合せとなり、地元の声援をうけた下関中央工が、後半2点のハンデをみごとにはねのけ逆転に成功、2年連続4度目の優勝を飾った。

女子も、実力伯仲の白熱戦がつづき、有力校が次々に姿を消す波乱ふくみの経過をたどったが、決勝は小松市女×山陽女(広島)と、男子同よう中国―北信越の対決となり、小松市女が前半のリードを活かし、追いすがる山陽女を振り切って2年ぶり3度目の優勝を遂げた。

来年8月の第29回大会は福島県郡山市で開かれる予定。

男　子

八幡工、中大付を降す
興南は名南工破る

▽1回戦

鶴舞（千葉）23（11—3　12—2）5　明石北（兵庫）

立ちあがりは互角だったが、しだいに鶴舞が好守備から試合を支配、前半15分以降はやや一方的。

隼人工（鹿児島）16（9—5　7—8）13　坂出工（香川）

坂出は後半15分10—13と追いあげ、そのあとの展開に興味をもたせたが、隼人は焦らず振り切った。

佐世保西（長崎）15（7—2　8—2）4　函館有斗（北海道）

有斗はスピードに欠け、しかも絶好機を再三落として、佐世保をすっかり楽にさせた。

大曲農（秋田）20（7—4　13—5）9　柏崎工（新潟）

互角の戦況から大曲は前半15分すぎ高橋均の連続ゴールでペースをつかみ、一気に押し切った。

熊本一工（熊本）20（9—9　7—7　…　2—0　2—1）17　東山（京都）

延長前半、熊本は畠中とPTで2点を先行、東山を突き放した。東山は前半15分6—3、熊本は後半8分13—9と優位に立つ場面があったが粘り合う熱戦。

加納（岐阜）19（9—8　10—6）14　添上（奈良）

実力伯仲。加納は前半20分すぎと後半の立ちあがり2回の3点連取が利いた。

新居浜工（愛媛）17（6—5　11—3）8　青森商（青森）

青森はいきなり3—0とする好スタートだったが、新居浜は21分初リード、そのあとも着々と加点

盛岡一（岩手）13（7—6　6—3）9　静岡農（静岡）

勝負のかかった後半、盛岡は10分すぎ3点をつづけて奪い11—7静岡は攻撃に波がありすぎた。

都城工（宮崎）15（8—5　4—7　…　1—1　2—1）14　北陸（福井）

残り3分10—12とされた北陸は山本、岩本で追いつき、延長開始直後に1点をあげ、勢いづいたかにみえたが、都城はこのあと木牟礼、竹之下らで得点、逆転した。

興南（沖縄）21（9—6　12—6）12　名南工（愛知）

前半15分からの6点連取で優位に立った興南の力勝ち。名南は攻め口を変えて粘るも及ばなかった

境港工（鳥取）25（14—5　11—8）13　土佐（高知）

先取点は土佐があげたが、境港は早い動きで相手ディフェンスを切り崩し、前半なかばから一方的

四日市工（三重）17（5—7　12—4）11　国学院栃木（栃木）

後半17分11—10と予断を許さなかったが、四日市はそのあと6点をたてつづけに奪った。

御坊商工（和歌山）12（5—4　7—7）11　神埼農（佐賀）

後半15分10—6とした神埼がそのまま…かとみえたが御坊はみごとな気力で逆転勝ち。好試合。

大阪市立（大阪）18（9—3　9—7）10　上田（長野）

同型のチームだったが、速攻力に優る大阪が、攻撃に決め手を欠く上田をかわした。

八幡工（滋賀）18（7—7　11—9）16　中大付（東京）

中大はたえずリードしながら八幡の粘りを振り切れず、残り5分15—15から3点を失って敗れた。

大石田（山形）13（6—6　7—6）12　松江工（島根）

10—7の優位を僅か5分間で11—12とされてしまった大石田だが残り3分2点をあげ逆転勝ち。

塩山商（山梨）15（6—2　9—6）8　池田（徳島）

速攻に確実味のある塩山は、前半19分から後半2分まで連続5ゴール、ここが勝負の岐れ目だった

大阪市立、倉敷工に屈す
富岡、新居浜工かわす

▽2回戦

下関中央工（山口）22（12—4　10—8）12　鶴舞

下関は巧みなパスプレーと速攻で調子のでかたが遅かった鶴舞を圧倒しつづけた。

関東学院（神奈川）17（10—5　7—3）8　隼人工

コンビネーションプレーに秀れた関東は、巧みに隼人を自分のペースへ巻きこみ快勝。

岩国工（山口）22（9—6　13—6）12　加納

岩国は固さがのぞき、主導権を握れなかったが、加納もパスミスが目立ち、内容に乏しかった。

鶴崎工（大分）21（8—9　13—3）12　大曲農

大曲はPTを活かし先行したが後半守りが崩れ、鶴崎のセット、速攻に失点を重ねてしまった。

熊本一工　18（7—2　11—4）6　岩国（山口）

期待された岩国だが、せりあったのは10分まで。そのあとは熊本が多彩な攻めで押しまくった。

岩井（茨城）22（10—3　12—7）10　都城工

都城は攻撃はともかく守りに甘

さがのぞき、岩井のムラのない得点力に対抗できずに終った。

富岡（群馬）8（3―0、5―7）7 新居浜工

前半零封された新居浜が後半立ち直り、激戦となったが、富岡は残り30秒石田で8―6、勝った。

川口北（埼玉）20（12―6、8―5）11 盛岡一

五角の序盤からしだいに川口の早い攻めが優位となった。点差の割にテンポのあるいい試合だった

四日市工 17（9―2、8―8）10 小松工（石川）

四日市のつぶしの早いディフェンスを小松が崩せぬ間に、四日市は後半5分15―2と開く一方勝ち

興南 20（9―10、11―8）18 修道（広島）

後半14分11―14とされた興南は東長浜の活躍で一気に逆転、そのあともつれたものの押し切った。

境港工 19（7―7、12―10）17 学法石川（福島）

境港は後半10分13―12から3点連取したのが大きかった。石川も最後まで頑張ったがとどかず。

小倉西（福岡）32（17―2、15―3）5 大石田

小倉西はいきなり13ゴール、大石田はこれですっかり気落ちしてしまい、反撃の色も示せなかった

倉敷工（岡山）14（7―5、7―8）13 大阪市立

倉敷は後半19分14―11としたあと得点が止まってしまい、大阪の反撃を受けたが、逃げこんだ。

佐世保西 21（10―6、11―2）8 八幡工

前半はせりあいがつづいたが、後半になるとスタミナ充分の佐世保が走りまくった。

御坊商工 11（5―4、6―6）10 仙台育英（宮城）

仙台は後半15分6―9からタイにこぎつけたが、つねに先手の御坊は20分すぎ2点を連取して辛勝

氷見（富山）26（13―3、13―3）6 塩山商

氷見は立ちあがりからよく走り速攻、ロングで得点、守っても好連けいで塩山を寄せつけなかった

山口ペア、ベスト8へ
小倉西、氷見も勝ち進む

▽3回戦

下関中央工 29（13―3、16―7）10 鶴崎工

鶴崎は0―4から3―6まで盛り返し、そのあとの展開に期待をもたせたのだが、下関はデフェンスを固める一方、多彩な攻撃で危気なかった。

佐世保西 19（13―7、6―8）15 境港工

境港は後半二つのPTなどで劣勢を挽回、13分13―14まで追いこんだのだが、佐世保はこのあと馬場の巧技で16―13、優位をキープしたのが大きかった。好試合。

富岡 14（8―4、6―9）13 興南

残り10分14―9とした富岡が簡単に押し切るかとみえたが、興南はそのあと4ゴールして、がぜん白熱。しかし富岡は辛くも持ちこたえた。興南は前半の拙戦が惜しい。

岩国工 19（7―4、12―2）6 岩井

小ぜりあいのあと岩国は中本の連続ゴールが優位に立ち、ディフェンスの詰めのよさから岩井に反撃の機会を与えなかった。岩井は体力がなく鋭さに欠けた。

関東学院 20（10―4、10―5）9 倉敷工

関東のバラェティに富んだ攻撃に対し、倉敷は相手防禦陣に近づきすぎたシュートが多く、思うように得点をあげられなかった。後半も同じような展開。

小倉西 19（7―6、12―4）10 四日市工

後半5分まで互角の戦況だったが、このあたりから四日市にミスが目立ちはじめ、小倉西の速攻をうけた。四日市は態勢を立て直せぬまま、最後は大きな差がついた。

氷見 25（10―8、15―7）15 御坊商工

御坊の食い下りをうけて前半せりあった氷見だが、後半一気にスパート、10分18―8とする猛攻で相手をねじふせた。御坊のダークホースぶりがよく出た試合だ。

川口北 19（7―6、12―6）12 熊本一工

1点先行する川口は、後半10分までに相手のパスミスなどから5点をあげ12―7として、主導権を手に入れた。熊本は、その後もミスが多く自滅と云えた。

岩国工、猛迫及ばず
氷見は小倉西突き放す

▽準々決勝

下関中央工 14（7―3、7―7）10 富岡

【富岡】		得
GK	落合	0
	岩井	0
FP	石田	1
	井上	5
	寺山	2
	富沢	1
	大竹	0
	永井	1
	諏訪	0
	山田	0
	斉藤	0
PT		(0) 10

【下関】		得
GK	植木	0
	永野	0
FP	松川	4
	湯川	1
	浜本	5
	河村	2
	新宅	2
	和田	0
	大瀬良	0
	葛神	0
	藤村	0
	小田	0
PT		14 (3)

（審・近藤、日野）

引きはなされまいとする富岡だったが、勝機を巧みにつかむ下関の試合運びには一歩をゆずった。

下関は後半10分9―5から連続4点、勝負を決めた。

（石切山総治）

川口北 14（9―4、5―7）11 関東学院

【関東】		得
GK	志田	0
	渡部	0
FP	定森	1
	吉田	0
	福増	6
	福本	3
	佐々木	0
	荻野	0
	秋山	1
	座間	0
	峰	0
	田中	0
PT		(0) 11

【川口】		得
GK	飯島	0
	佐々木	0
FP	田辺	0
	富山	0
	寿川	2
	田中実	1
	稲村	9
	田村	0
	増田	0
	高橋	1
	田中和	1
	山岸	0
PT		14 (0)

（審・岡前、石切山）

稲村の得点力を活かし後半12分13―7と優位に立っていた川口がそのあと加点できず、関東は20分11―13、一気に逆転かとみえたがここで力つきた。

（大宮　泉）

全日本高校選手権
歴代優勝校

	【男子】	【女子】
①昭25	足利（栃木）	操山（岡山）
②	桜台（愛知）	青陵（岡山）
③	桐生工（群馬）	寝屋川（大阪）
④	桜台	稲沢（愛知）
⑤	桜台	寝屋川
⑥	桜台	明善（福岡）
⑦	桜台	寝屋川
⑧	桜台	水海道二（茨城）
⑨	清水商（静岡）	熊本市立（熊本） 寝屋川
⑩昭34	中京商（愛知）	熊本市立
⑪	中京商	熊本市立
⑫	中京商	半田（愛知）
⑬	桜台	静岡城北（静岡）
⑭	桜台	静岡城北
⑮	明星（東京）	栃木女（栃木）
⑯	桜台	静岡城北
⑰	明星	秋田和洋女（秋田）
⑱	明星	花巻南（岩手）
⑲	下関中央工（山口）	菊池農（熊本）
⑳昭44	下関中央工	新居浜市商（愛媛）
㉑	新居浜工（愛媛）	水海道二
㉒	湯沢（秋田）	山陽女（広島）
㉓	中大附属（東京）	深谷女（埼玉）
㉔	名城大附属（愛知）	小松市女（石川）
㉕	久留米工（福岡）	大谷（大阪）
㉖	清水（千葉）	小松市女
㉗	下関中央工	大分東（大分）
㉘昭52	下関中央工	小松市女

佐世保西 19（8−13, 11−5）18 岩国工

【岩国】	得
増田（GK）	0
西川（GK）	0
西本（FP）	0
曹岡（FP）	6
中本（FP）	10
川岡（FP）	0
下戸成（FP）	2
吉山（FP）	0
広中（FP）	0
有本（FP）	0
末岡（FP）	0
家本（FP）	0

【佐西】	得
金子（GK）	1
牟田（GK）	0
藤永（FP）	0
神之田（FP）	0
平原（FP）	0
馬場（FP）	11
滝本（FP）	1
橋本（FP）	0
嶋崎（FP）	0
嘉林（FP）	0
江頭（FP）	0
田吉（FP）	0

（審・島田、大宮）

19（0）PT（0）18

残り8分18―12と佐世保が断然有利だったが、このあと岩国が驚くべき反撥力をみせ23分1点差としたが、佐世保は必死に逃げこんだ。佐世保は前半の大量リードとGKの活躍が勝因。（新村理文）

氷見 18（9−5, 9−9）14 小倉西

【小倉】	得
小川嘉（GK）	0
中村（GK）	0
森本（FP）	11
畠中（FP）	0
小川隆（FP）	0
片脇（FP）	0
井上（FP）	2
中川貢（FP）	0
中川英（FP）	0
青木（FP）	0
田口（FP）	0
野口（FP）	1

【氷見】	得
川井（GK）	0
水谷（GK）	0
中山（FP）	0
大門（FP）	0
西山（FP）	0
関谷（FP）	0
狩野（FP）	0
中浦（FP）	0
糸（FP）	0
裏（FP）	0
小久保（FP）	0
光安（FP）	0

（審・新村、井上）

18（0）PT（0）14

小倉のリードを氷見が、氷見の先行を小倉が、という展開の前半から、後半になると総合力にやや優る氷見が押し気味になった。

小倉も食い下り13分13―12と予断を許さなかったが、ここで氷見は2点連取、16分15―12。

挽回をはかる小倉は、焦りからかパスミスが多くなり、20分すぎ再び氷見の攻撃にあって追い切れなかった。

氷見の地力が目立ったが、小倉西は序盤4―0の優勢を活かせなかったのは悔やまれよう（近藤正行）

下関×氷見、連続の対決へ

▽準決勝

下関中央工 18（10−6, 8−6）12 川口北

【川口】	得
佐々木（GK）	0
飯島（GK）	0
田村（FP）	0
稲村（FP）	6
田中実（FP）	0
寿川（FP）	2
富山（FP）	0
田辺（FP）	1
増田（FP）	0
高橋（FP）	2
田中和（FP）	0
山岸（FP）	0

【下関】	得
植木（GK）	0
永野（GK）	0
湯川（FP）	2
松川（FP）	7
河村（FP）	6
浜本（FP）	2
和田（FP）	0
新宅（FP）	1
大瀬良（FP）	0
葛神（FP）	0
藤村（FP）	0
小田（FP）	0

（審・石切山、岡前）

18（1）PT（1）12

下関は前半、好機を逸し川口の食い下りを許したが、後半10分9―8から松川がPTを含む連続5点をあげる活躍で14―8とし、ようやく主導権を握れた。

川口は、前半、下関を上廻るパスワークと走りをみせたが、後半は稲村がマークされて、健闘も空しかった。下関は一戦ごとに調子をあげている。（日野 博）

氷見 19（13−6, 6−6）12 佐世保西

【佐西】	得
金子（GK）	0
牟田（GK）	0
藤永（FP）	2
橋本（FP）	0
滝本（FP）	1
馬場（FP）	6
平原（FP）	1
神之田（FP）	2
嶋崎（FP）	0
嘉林（FP）	0
江頭（FP）	0
田吉（FP）	0

【氷見】	得
川井（GK）	0
水谷（GK）	0
中浦（FP）	1
狩野（FP）	3
関谷（FP）	8
西山（FP）	0
大門（FP）	3
中山（FP）	1
糸（FP）	2
裏（FP）	0
小久保（FP）	0
光安（FP）	0

（審・中村、片山）

19（2）PT（4）12

氷見―佐世保西・戦

両校ともGKからの球出しがFPの動きに合わなかったため速攻が決まらず、主導権を握ることができぬせり合い。後半になると氷見は西山の連続ゴールで一歩リード、5分すぎからは完全に波へのった。

佐世保は、前半、氷見の乱調と正GKの退場のスキにもう少し加点しておけば、後半の流れを変えることもできたろう。（東昌弘）

氷見、3点差活かせず

▽決勝

下関中央工 19（10−6, 9−10）16 氷見

【氷見】	得
川井（GK）	0
水谷（GK）	0
中山（PF）	0
大門（PF）	3
西山（PF）	9
関谷（PF）	0
狩野（PF）	1
中浦（PF）	2
裏（PF）	0
糸（PF）	1
小久保（PF）	0
布施（PF）	0

【下関】	得
植木（GK）	0
永野（GK）	0
松川（PF）	6
湯川（PF）	3
浜本（PF）	4
河村（PF）	3
新宅（PF）	2
和田（PF）	1
大瀬良（PF）	0
葛神（PF）	0
藤村（PF）	0
小田（PF）	0

（審・岡前、石切山）

19（2）PT（1）15

○……前年と同じ顔合せで男子決勝が争われるのは35～36年の桜台×中京商（ともに愛知）、43～44年の下関中央工×中大付（東京）について3度目。

こうした場合、追う立ち場のほうが有利と思えるが、いずれも前年の勝者が王座を守り抜いており今年も、まさにその前例どおりとなった。

○……試合は氷見が2分40秒早くも西山、大門、糸で3―0とする好スタート、その優位を20分（9―6）まで持ちつづけた。

しかし、下関はこのあたりからようやくテンポが出はじめ追撃の態勢を整えはじめる。

先行する氷見は後半3分中浦で11―9とし、下関のリズムを狂したかにみえたが、前半終了間ぎわに、いちど手応えをつかんだ下関は5分浜本のゴールを口火に連続6ゴールして一気に14―11とする猛攻をみせた。

○……氷見も負けてはいず、下関が一息ついたスキをついて16分14―15、再び精気を取り戻し期待をもたせたのだが、この1点の重味は予想外に大きく、22分16―17までで、どうしても詰め切れなかった。

下関は残り1分河村、湯川が2連勝を決めるシュートを決め、熱戦の幕を引いた。（日野 博）

下関中央工・槙敏夫監督の話

決勝は去年の再現だったが、特にやりにくいことはなかった。大体思いどおりのチーム造りができていたので、ある程度、自信も生まれていたが、勝因は一にも二にも選手の気力である。

女子

函館商、緒戦で姿消す
守山女、辻に完勝

▽1回戦

住吉学園（大阪）10（2―3、8―1）4 函館商（北海道）

後半のスタミナの差が守りの差を生み、住吉ペースとなった。函館は暑さとの戦いにまず勝ちたい

夙川学院（兵庫）11（7―6、4―2）8 郡山女（福島）

走りの夙川とセットの郡山。後半5分からスピードに勝る夙川が4連続ゴールしてつきはなした。

神埼農（佐賀）8（5―0、3―4）4 津女子（三重）

津は得意のセットを神埼の早いつぶしにあって前半0点、後半の反撃も活かせなかった。

昭和学院（千葉）12（6―4、6―1）5 富田女（岐阜）

富田はPTで前半を何とか持ちこたえたが、後半は単調な攻撃を読んだ昭和が速攻で試合を握った

小諸商（長野）9（6―3、3―3）6 東海大五（福岡）

小諸のパス攻法に対して東海はブロック攻撃で後半10分1点差につめよるが、シュート力に欠けた

武生商（福井）13（6―4、7―3）7 島原農（長崎）

武生は上背のある杉本、藤の攻撃力をつかってつねに先行、島原は得点が散発的で追切れなかった

山陽女（広島）9（2―1、7―1）2 米沢女（山形）

昨年に続くカード。雪辱に燃える米沢も前半まで。後半に入ると走りの差が出て山陽のワンサイド

御坊商工（和歌山）7（4―1、3―5）6 別府青山（大分）

御坊は前半のリードを何とか守りきった苦しい試合。別府は後半の調子をもっと早く出したかった

深谷一（埼玉）7（4―1、3―3）4 中芸（高知）

深谷は、前半の好調を巧く持ちこんで後半4分6―1、中芸は動きが鈍く、勝機は全くなかった。

有磯（富山）7（2―2、5―2）4 国分実業（鹿児島）

有磯が得点すると国分もかえすという好ゲーム。有磯は残り5分から連続ゴールして逃げ切った。

小松市女（石川）15（6―2、9―2）4 津山商（岡山）

小松の立ち上りはもたつき気味だったが、前半10分から調子ずき7点連取で大勢を決めた。

日川（山梨）9（6―2、3―0）2 江南（新潟）

ポスト、ブロックを使い合っての進行だったが、勝敗を分けたのはディフェンス力。

青森西（青森）15（8―2、7―4）6 郡山（奈良）

郡山はGK島田が健闘したが、FP陣にもう一つ鋭さが欠け、青森のスピードある攻防に押された

涌谷（宮城）6（3―3、3―2）5 浦添（沖縄）

涌谷は浦添GKの度重なる好守に苦戦。浦添はステップシュートは良いが速攻ミスが目立ち惜敗。

守山女（滋賀）20（7―0、13―0）0 辻（徳島）

辻はなんとか一矢をと懸命だったが、守山の堅陣を破れなかった零封試合は4年ぶり。

明倫（神奈川）7（3―1、4―0）1 米子南商（鳥取）

両チームともミスが目立ち前半を凡戦としたが、速攻に勝る明倫が、後半のペースをつかんだ。

花巻南（岩手）3（2―1、1―1）2 西京商（京都）

暑さのためか僅小差のせりあいで、西京はPTが決まらぬのがたたった。花巻も単調にすぎた。

大分東、熊本女商敗退
和洋女、水海道二も

▽2回戦

住吉学園 9（4―1、5―4）5 大分東（大分）

前年の女王が早くも姿を消した住吉は積極的な試合運びで15分3―0、後半も互角に進めて快勝。

栃木女（栃木）12（8―4、4―1）5 夙川学院

栃木は夙川の荒い守りをついて有利に試合を進めた。後半も栃木は順調に加点。

神埼農 8（5―2、1―3）5 和洋女（秋田）

和洋は後半11分5―5としたが先行まではできず、結局、16分神埼・江島のゴールが決勝点。

昭和学院 8（2―3、6―1）4 延岡（宮崎）

昭和は後半4分3―4から一気に逆転。相手の乱調をついた延岡の善戦でもつれたが、結果は順当

岩津（愛知）10（6―5、4―4）9 小諸商

小諸が9―10とした時、まだ残り時間は4分あったのだが、このあと固さがのぞき、岩津が辛勝。

有磯 12（6―3、6―2）5 群馬女短大付（群馬）

群馬の出足はよかったのだが、前半6分から21分間無得点という拙さが、善戦を空しくさせた。

小松市女（石川）10（8―1、2―5）6 青森西

小松は先取された1点を簡単にはねのけ、前半で安全圏。青森は後半15分5―9したが及ばず。

日川 12（4―4、8―3）7 浜田商（島根）

後半8分日川6―5はまだまた波乱含みだったが、浜田は同点を焦ってつぶし、リードを拡げられた。

徳山（山口）7（5―2、2―3）5 武生商

徳山は立ちあがりから優位をとったが、固さが最後まで抜けず、武生・杉本の活躍に苦しめられた

山陽女 13（5―1、8―7）8 新居浜市商（愛媛）

好カードは、速攻の差で勝負が決まった。特に前半は山陽の好調に比べ、新居浜は一本調子すぎた

御坊商工 8（4―3、2―3：1―0、1―0）6 水海道二（茨城）

激戦。残り20秒酒井でタイとした御坊は延長に入ってからは完全に主導権を握り、みごとな粘り勝ちだった。水海道は6―3のあと絶好機を落としたのが痛い。

清水市商（静岡）7（4―1、3―2）3 深谷一

両校GKが美技を応しゅう、好試合となったが、清水は序盤4―0で終始余裕があった。

岩国商（山口）11（7―2、4―3）5 涌谷

涌谷は個々の動きをまとめられず、岩国のソツのない試合運びに押し切られた。

藤村女（東京）10（6―1、4―5）6 守山女

藤村は都会チームらしい技に脚力を加え、前半で主導権を握った守山も反撃したが遅きに失した。

花巻南 5（3―1、2―1）2 熊本女商（熊本）

熊本の2点はいずれもPT。花巻の堅実な守りに封じこめられたといっていい。攻め口も花巻優勢

三本松（香川）7（4―2、3―4）6 明倫

明倫は残り2分から2点をあげあと一歩に迫ったのだが、前半の逸機がたたり三本松に逃げられた

藤村女、神埼農制す
7人の三本松力つく

▽3回戦

昭和学院 6（3－4 3－1）5 住吉学園

住吉は後半7分倉光で5－3としたが追加点がなく、昭和は13分中野で追いつき、タイムアップ寸前のPTを沢口が決めて逆転サヨナラ。荒っぽい試合だった。

小松市女 12（10－2 2－5）7 御坊商工

小松女は尻上りに好調となってきているようで、後半1分11－2と早くも勝負をつけた。

御坊は、小松の先制をうけ自分のペースに乗れなかったのが敗因

山陽女 15（9－0 6－3）3 有磯

有磯は山陽のスピードに圧倒され、後半10分14－0と予想外の大差がついた。それでも最後まで闘志を捨てずプレーしたあたりは賞されていい。

藤村女 7（4－1 3－2）3 神埼農

神埼は攻撃が強引にすぎ、そのため前半18分まで無得点。藤村は早いパスワークと足を使ってこの間に3ゴール、後半開始直後にも2点を加え6－1、メドをつけた。

岩国商 9（2－1 7－0）1 三本松

両校とも17分間無得点、三本松が先制すると、岩国も目がさめたようで一気に加点、後半8分7－1となった。三本松は交替選手がなく7人だけで戦い抜いた。

清水市商 9（7－4 2－3）7 徳山

前半の動きからみると清水の楽勝かとみえたが、徳山は後半、持ち前の粘りと試合運びの巧さで反撃、13分7－8としたのだが、清水は16分1点を加え逃げ切った。

栃木女 8（3－4 5－2）6 岩津

栃木3－0を岩津が4－3に変えたのが18分。そのあとは一進一退、後半15分6－6となり緊迫したが、栃木は18、19分柏崎の連続ゴールが殊勲となった。

日川 5（3－0 2－1）1 花巻南

力に差はなかったが、花巻は後半4本のPTを決めることができず、日川の逃げ切りを許した。

日川は両広瀬の巧技で優位に立つ一方、守りも固く鮮やかだった

関東勢、揃ってストップ

日川の追撃とどかず

▽準々決勝

山陽女 13（5－2 8－5）7 昭和学院

	【昭和】	得
GK	田中	0
FP	沢口	3
	村山	0
	高野	0
	堀川	0
	中野	0
	染谷	1
	浜中	0
	井上	0
	太田	3
	加藤	0

（審・今村・野村）

得	【山陽】	
0	丸岡	GK
0	矢野	GK
8	寺西	FP
2	川本	
0	森田	
0	大前	
1	山田	
0	寺本	
1	住田	
1	西村	
0	原田	
0	若林	

13（2） PT （2）7

山陽は、昭和の中央攻撃を早いつぶしで封じたが、巧撃はもう一つ迫力に欠け、後半7分7－5とせりあった。しかし、このあと速攻が決まりはじめ快勝（中村時雄）

岩国商 9（4－3 5－2）5 栃木女

	【栃木】	得
GK	石塚	0
GK	松橋	0
FP	植竹	1
	石井	1
	大島	0
	清水	0
	柏崎	0
	野中	1
	塩谷	2
	阿部	0
	鈴木	0
	上田	0

（審・上田・栗）

得	【岩国】	
0	源内	GK
0	石崎	GK
3	砂原	FP
0	藤本	
0	安村	
3	上村	
0	村井	
0	吉利	
0	松浦	
3	是枝	
0	河中	
0	亘本	

9（0） PT （0）5

後半12分5－4から岩国は波にのり一気に9－4。

栃木はFTからの得点を狙ったのだがやや単調で攻め切れなかった。（今村孝一）

小松市女 16（8－4 8－8）12 藤村女

	【藤村】	得
GK	三須	0
GK	清水	0
FP	堀之内	1
	青木	3
	小松	1
	日高	1
	伊藤	5
	原	1
	荒岡	0
	阿部	0
	福島	0
	白木	0

（審・横瀬・古賀）

得	【小松】	
0	高橋	GK
0	竹本	GK
0	大西夕	FP
0	川本	
0	大西久	
1	山下	
1	木内	
0	手打	
1	宮西	
6	八木	
0	東山	
7	池田	

16（4） PT （3）12

前半4点差をつけられた藤村は後半10分9－11まで追いあげたのだが、小松はここでよく踏んばり15分すぎ勝負を決める3点をあげた。ともに最後までスピードの落ちぬ攻守を応しゅうし、見応えのある一戦であった。（東 昌弘）

清水市商 8（3－3 5－4）7 日川

	【日川】	得
GK	豊角	0
GK	小林	0
FP	金井	0
	尾形	0
	野沢	0
	広瀬和	0
	広瀬住	3
	斉藤	2
	中村	1
	石原	1
	手島	0

（審・片山・中村）

得	【清商】	
0	海野	GK
0	小沢	GK
3	小野田	FP
2	後藤	
0	法兼	
1	大沢	
0	上原	
0	塚田	
2	行方	
0	杉山	
0	石田	
0	平林	

8（0） PT （1）7

日川のリードに前半18分追いついた清水は、後半も好テンポで10分7－4と開いたが、日川は13分のPTから反撃のチャンスをつかみ、19分ついに7－7に追いついた。

しかし、清水は終了40秒前小野田がロングを決め貴重な勝利を握った。互いに好防禦を示したいい試合だった。

史上初めてベストエイトの半分を占めた関東勢だが、ここですべて姿を消した。（古賀 昇）

小松市女、清水商に逆転勝ち

▽準決勝

山陽女 7（4－3 3－1）4 岩国商

	【岩国】	得
GK	源内	0
GK	石崎	0
FP	藤本	0
	砂原	2
	上村	0
	安村	1
	吉利	0
	村井	0
	松浦	0
	是枝	1
	河中	0
	重本	0

（審・日野・近藤）

得	【山陽】	
0	丸岡	GK
0	矢野	GK
0	寺本	FP
2	山田	
0	大前	
0	森田	
1	川本	
4	寺西	
0	住田	
0	西村	
0	原田	
0	若林	

7（2） PT （2）4

中国同士、手の内を知っているせいか、わたりあいの少ない展開となり、緊張からか小さなミスも目立った。僅かに押し気味の山陽が前半15分すぎ4—1としたが、岩国も前半終了まぎわ1点差に迫り、盛りあげた。

後半になると、雰囲気になれ両校ともよく走って好機をつかんだが、互いに相手GKの美技にあい得点があがらず、山陽がPTと10分川本で6—3とどうにか差をあけた。

岩国は、反撃機を山陽ディフェンスの出足につぶされ、ポストからのチャンスもシュートが決まらず、後半は13分のPTだけ、善戦にとどまった。（岡前義春）

小松市女 11（3—5、8—5）10 清水市商

	【清商】	得
GK	海野	0
GK	小沢	0
FP	小野田	3
FP	塚田	0
FP	法兼	1
FP	後藤	5
FP	大沢	1
FP	上原	0
FP	行方	0
FP	杉山	0
FP	石田	0
FP	平林	0
PT	（3）	10

（審・原　上田）

	【小松】	得
GK	高橋	0
GK	竹本	0
FP	山下	2
FP	木内	1
FP	大西夕	0
FP	川本	0
FP	河原	0
FP	金山	0
FP	宮西	2
FP	八木	1
FP	東出	0
FP	池田	5
PT	（1）	11

小松は疲れが出たのか、前日までの動きに比べ切れが悪く、10分すぎに2本のPTで2点差をつけられた。

後半、小松は4分PTで4—5としたが、清水も5分10秒小野田5分40秒大沢で7—5と優位をつづけた。

ところが、ここで清水は反則退場者を出し、小松は14分ついに同点（9—9）、16分池田が射ちこみ初のリードを奪った。

清水も16分PTでタイに持ちこんだものの、前半の鋭さはすでになく、18分小松は宮西であげた勝ちこし点を巧く守り切った（中村）

山陽に惜しい守りの後手

▽決勝

小松市女 8（5—2、3—4）6 山陽女

	【山陽】	得
GK	丸岡	0
GK	矢野	0
FP	川本	0
FP	寺西	6
FP	森田	0
FP	大前	0
FP	山田	0
FP	寺本	0
FP	住田	0
FP	西村	0
FP	原田	0
FP	若林	0
PT	（1）	6

（審・横瀬　岡村）

	【小松】	得
GK	高橋	0
GK	竹本	0
FP	山下	0
FP	木内	1
FP	大西夕	0
FP	池田	1
FP	川本	0
FP	金山	0
FP	八木	6
FP	宮西	0
FP	東出	0
FP	手打	0
PT	（0）	8

○……セットにおける得点力に勝る小松は、昨日までのディフェンスの甘さが影をひそめ、山陽のカットインによる右からの攻撃を早目にチェックしてペースをつかみセットに持ちこんでは、八木の好リードで加点していった。

山陽はトップを右に置いて、ボールの位置によって、二～四になる変則ディフェンスだが、左から鋭く切り込んでくる八木の動きに対して相性が悪く、守りが全て後手になってしまった。

攻めては右からの攻撃に固執、せっかくの守りの薄くなった寺西にパスが回らなかった。

寺西は今大会調子を上げてきていただけに、良い間合いでパスが渡っていれば、もしやと思わせた。

それでも山陽は速攻に活路を見い出して、PTに持ちこみ後半追いあげて、試合を最後までもりあげたが、一点差に迫るべきPTをGK高橋に好守されて万事休した（山本浩二・編集委員）

小松市女・谷口俊春監督の話

優勝候補の一つに数えられ、追われる感じで試合をつづけたが、全選手がよく頑張ってくれた。

優勝は何回しても嬉しいが、これに満足することなく、明日からはまた一にかえって精進したいと思う。

津山が初優勝

秋田で全国高専選手権

（速報）第4回全国高専選手権は8月25日から27日まで秋田県営体育館で挙行、前年優勝の一関（岩手）をはじめ、ブロック予選を勝ち抜いた次の16校が参加トーナメントで選手権を争い、津山高専（中国・岡山）が初優勝した。参加校と準決勝以降の成績は次のとおり。＝詳報次号

釧路高専（北海道）、一関高専、宮城高専、秋田高専（以上東北）、長岡高専、東京育英高専（以上関東甲信越）、沼津高専、豊田高専、富山高専（以上東海北陸）、和歌山高専、舞鶴高専（以上近畿）、宇部高専、津山高専（以上中国）、高知高専（四国）、有明高専、鹿児島高専（以上九州）。

▽準決勝

津山高専（中国　岡山）12（5—6、7—4）10 鹿児島高専（九州・鹿児島）

舞鶴高専（近畿　京都）19（7—5、12—6）11 育英高専（関東　東京）

▽決勝

津山高専 14（9—3、5—9）12 舞鶴高専

下関中央工、国体には出ず

全日本高校選手権で、みごとな攻守をみせ、2年連続優勝を飾った下関中央工（山口）は、この大会の前、徳山市で行われた青森国体山口県予選（少年男子）では、岩国工高に12—16で敗退、10月の国体には、姿をみせない。

日韓高校交流

男女とも「九州選抜」連敗

第11回（女子第4回）日韓高校親善大会は、14年ぶりで〝単独交流〟として8月15日から19日まで、九州高校選抜（中西敬一団長ら役員5、選手男女各12）が遠征して行われ男女とも九州高校選抜が2連敗するという結果に終った。

これで通算成績は男子が日本側の30戦8勝4引き分け18敗（うち11人制4戦3勝1引き分け）、女子が日本側の8戦3勝5敗となった。

◇男子▽第1戦（8月16日午後4時30分開始・ソウル永東高校体育館。審判＝朴鍾甲、崔大鎬）

麻浦（韓国） 17（10—6、7—7）13 九州高校選抜（日）

▽第2戦（18日午後4時開始・ソウル永東高校体育館。審判＝李文植、李庸憲）

高麗（韓国） 25（14—6、11—10）16 九州高校選抜

◇女子▽第1戦（16日午後3時30分開始・永東高体育館。審判＝金昌勲、高炳勲）

聖貞女（韓国） 8（4—4、4—3）7 九州高校選抜（日）

▽第2戦（18日午後3時開始・永東高体育館、審判＝成鍾元、沈炯燮）

井邑女（韓国） 8（6—3、2—3）6 九州高校選抜

基本に忠実な韓国

中西敬一

出発まで宿舎の連絡がなく、やや心もとなかったが、金浦空港で大韓協会の金顕九副会長、劉彰熙事務局長らの出迎えをうけ、宿泊滞在中のスケジュールなどを打ちあわせることができ、不安も解消帰国まで何の不自由なくすごすことができた。

日本と韓国では、この交流試合の〝受けとめかた〟が異ることは承知していたが、主催、後援、主管対戦チーム等々の面において、来年度韓国チームの受けいれ時、いかに対処すべきか、検討の要がある。

試合は、韓国側は単独チームのため、夏休みにもかかわらず、校長（団長）を先頭に教員、生徒各校とも三〜四百名の応援を繰り出しこのシリーズに対して、礼を失することなく、いかに熱をいれているかがうかがわれた。

応援の態度にしても、特にいや味もなく、整然としていたのには感心させられた。

選手も、それに応えて終始基本に忠実で、きびきびした動作、スタミナ、技術面など、私たちも素直に反省すべき点は反省しなければ、過去の戦績が示すように勝つことが、容易でないことが、うかがわれた。

もちろん、今回は九州各県からのピックアップチームのため、個人々々の技術は優るとも劣ることはない。ただ、コンビネーションの面において、予算や各校の行事のため合宿も思うにまかせず、実質3泊4日の合同練習だけで終り監督、コーチの構想も十分に活かされず、ピックアップチームの弱い点が、結果として現れてしまった。

大韓体育会、大韓協会は日韓親善のため、今後ともハンドボールはもちろんのこと、一競技でも多く、両国の交歓試合を末永くつづけたい、との強い希望と意気ごみを感じた。（遠征選手団々長、全国高体連ハンドボール部副部長）

台湾少年チームが快挙

イタリア国際大会で優勝

台湾の少年チームがイタリアで行われた国際少年ハンドボール大会で優勝を飾った——台湾在住の早大OB・宋内堂氏から、久田暁本誌編集委員に、このほど伝えられた連絡によると、6月25日から29日までイタリアのテラモで行われた青少年(男女)国際カップの男子16才の部に初出場した台湾は、ユーゴ、フランス、オランダ、イタリアなど14チームをみごとにおさえて、優勝を遂げたものである。

大会は、男子が18才、16才、11才、女子が18才、16才の各クラスに分かれ、台湾の参加した男子16才クラスは、14カ国を7カ国づつ2組に分けて予選リーグ、各組同位者で1〜14位を争った。

台湾は、予選リーグで6戦6勝のあと、ユーゴとの決勝も13—11（前半4—7）で勝ち、みごとに栄冠を獲得した。

ユーゴは、この大会の常勝国で初参加の台湾が、その連覇を阻んだことは、大きな話題をまいた。

台湾チームは、7月10日優勝カップのほか優秀GKカップ、最遠距離参加国カップなどをみやげに帰国した。

◇

少年（少女）クラスの国際大会は近年、ヨーロッパで急激に増えており、かつて日本にも一、二参加の照会があった。

それにしても、台湾の年少普及対策が、これほどのレベルに達していたとは、日本協会内でも驚きの声をあげている。



いきなりブラザー×ジャスコ（10月9日・仙台）

〜日本リーグ後期の日程が内定〜

湧永薬品×大同特殊鋼は11月26日

日本リーグは、10月9日開幕する第2回リーグ後期の日程を次のように内定した。

青森国体（10月2〜7日）あけを利用した北海道・東北シリーズをはじめ、19都道府県の23会場で男女各28試合が行われる。

前期トップ（7戦全勝）で折り返した湧永薬品（広島）と、僅差で追いかける大同特殊鋼（愛知）との〝決戦〟は最終週第3日の11月26日京都府立体育館に予定されている。

激しい星争いを演じている女子は、いきなり勝ち点12で首位に並ぶブラザー工業（愛知）とジャスコ（三重）が10月9日の開幕日仙台・宮城県スポーツセンターで顔合わせ、日本ビクター（茨城）×ブラザー工業戦は第2週、V2を狙う立石電機（熊本）は第6週、第7週にジャスコ、ブラザー工業日本ビクターの順に連戦する。ビクター×ジャスコも最終週のカードとなっており、男女とも最終週（11月23〜27日）まで、もつれにもつれそうな雲行きである。

なお、10月12〜18日男子世界選手権アジア予選が台湾で予定されているが、日本協会は、このスケジュールを承認することになりそうだ。

試合時間など日程の正式発表は9月10日ごろ行われる。

○…後期日程(内定)…○　□印は女子

（第1週）▽10月9日　本田技×三景、□日立×大和、□ビクター×大崎（函館市民体育館）
大崎×日新、湧永×三菱レ、□立石×重機（秋田県立体育館）
大同×イーグルス、□ブラザー×ジャスコ（宮城県スポーツセンター）

（第2週）▽10月22日　大同×三菱レ、□重機×大崎、□ビクター×ブラザー（高岡市民体育館）
湧永×日新、□ジャスコ×大和（宮崎県体育館）
▽10月23日　三景×三菱レ、□ビクター×日立（石川県体育館）
本田技×日新、□立石×大和（都城市民体育館）

（第3週）▽10月30日　大崎×三景　□ビクター×大和、□重機×日立（栃木県体育館）

（第4週）▽11月6日　大崎×イーグルス、□重機×ブラザー（静岡県営草〇体育館）

（第5週）▽11月13日　大同×大崎、湧永×イーグルス、□立石×日立（長野県戸倉町総合体育館）
本田技×三菱レ、□ジャスコ×大崎（四日市体育館）

（第6週）▽11月19日　本田技×イーグルス　□ジャスコ×日立、□ブラザー×大和（大阪市中央体育館）
湧永×三景、大同×日新、□立石×ジャスコ（呉市体育館）
▽11月20日　イーグルス×日新、□ブラザー×大崎（神戸市立中央体育館）
大同×三景、湧永×本田、□立石×ジャスコ（徳山市民体育館）

（第7週=最終週）▽11月23日　大崎×三菱レ、□ビクター×重機（水海道二高体育館）
▽11月25日　日新×三菱レ、三景×イーグルス（東京体育館）
▽11月26日　三景×日新、□重機×大和（東京体育館）
大同×湧永、□ビクター×ジャスコ（京都府立体育館）
本田×大崎、□日立×大崎、立石×ブラザー（愛知県体育館）
▽11月27日　湧永×大崎、□大崎×大和（岐阜県民体育館）
イーグルス×三菱レ、□立石×ビクター（大阪堺市）
大同×本田、□ブラザー×日立
□重機×ジャスコ（愛知・岡崎市）

得点率を探る〜本誌〜

日本リーグは今年度から個人賞の一つとして、これまでの最多得点選手（得点王）のほか、最高得点率（シュート率）選手の表彰を決めているが、対象とするシュート数について規定しにくいことから、いまだに、その基準が未発表のままになっている。

現在、検討されているのは①規定シュート数を設ける②得点上位者のなかから最高率の選手を選ぶ③各チームの最高得点者のうち、最高率の選手を選ぶ――などだが運営委員会の決議に至っていない

本誌では、②にそって前期終了時の個人得点ベスト15の各得点率を割り出し、そのベスト10をつくってみた。

その結果、男子では得点15傑のうち13位に25点で並んだ7選手のうち5選手が得点率では上位に並び、首位得点者の蒲生はこの面では4位。女子は、小島が得点、得点率とも抜群だが、これはPT率の高さがモノをいっている。

また、前期のチーム別得点率も別掲のとおりである。

（訂正）本誌前号13頁・日本リーグ前期女子個人得点15傑14位を山井（日立）としたのは、山中（ブラザー工業、13点）の誤りでした。

日本リーグ前期得点率ベスト10

○……男子……○

①	松本	（湧永）	.641	㉕
②	大原	（大同）	.610	㉕
③	木野	（湧永）	.568	㉓
④	蒲生	（大同）	.567	51
⑤	中井	（大同）	.543	㉕
⑥	中馬	（三景）	.510	㉕
⑦	徳田	（日新）	.449	㉛
⑧	穂積	（湧永）	.444	㉘
⑨	山本	（湧永）	.441	㉖
⑩	大江	（三菱）	.431	51

○……女子……○

①	小島	（日ビ）	.714	35
②	荒木	（日立）	.472	⑰
③	紀野	（立石）	.470	㉛
④	加藤	（日ビ）	.423	㉒
⑤	松下	（ジャ）	.407	㉔
⑥	増永	（大和）	.395	⑰
⑦	小森	（ブ工）	.385	㉕
⑧	河田	（ジャ）	.373	⑲
⑨	山中	（ブ工）	.351	⑬
⑩	宮平	（ブ工）	.345	⑲

○内は得点

チーム得点率

○……男子……○

①	大同特殊鋼	.520
②	湧永薬品	.489
③	日新製鋼	.380
④	本田技研	.3750
⑤	三　　景	.3746
⑥	大崎電気	.368
⑦	イーグルス	.357
⑧	三菱レ大竹	.322

○……女子……○

①	日本ビクター	.389
②	ブラザー工業	.388
③	ジャスコ	.351
④	立石電機	.342
⑤	日立栃木	.310
⑥	大崎電気	.232
⑦	大和銀行	.230
⑧	東京重機	.229

※いずれも本誌調べ

Create Your New World with ACCORD

'76 CAR OF THE YEAR
モーターファン誌主催
年間最優秀自動車賞受賞
ホンダ・アコードEX-5

ACCORDとは「調和」「一致」です。
機能重視、人間尊重、そして環境保持。
こうしたテーマを高い次元で調和させました。
多用途・多目的に余裕をもって活用できる機能と
乗る人の心情に深くマッチした
快適さの実現です。
大人の感覚で磨きあげた車。
あなた自身の新しい世界を創造する車。
それがホンダ・アコードです。

ゆとりと調和のアダルト・カー

ACCORD®
CVCC



型式B-SJ・全長4.125m(EX・LX・GL)・全幅1.620m・全高1.340m・軸距2.380m・輪距　前1.400m後1.390m・CVCC水冷4サイクル直列4気筒OHC・総排気量1,599cc・最高出力80ps/5,300rpm・最大トルク12.3kg・m/3,000rpm・燃費21km/ℓ(5速ミッション車60km/h定地走行テスト値)・10モード燃費10.5km/ℓ(運輸省審査値)・四輪ストラット方式独立懸架●51年排出ガス規制適合車。

HONDA®
●シートベルトを締めましょう



本田技研工業(株)鈴鹿製作所
三重県鈴鹿市平田町1907 ☎<0593>78-1212 〒513

日本協会の動き

□ナショナルプレイヤー 優秀選手の巡回指導

日本体協は、昨年まで各競技団体の協力を得て開いていた「優秀選手巡回指導」事業を、今年度から、各競技団体に委託して進めることになり、日本ハンドボール協会も7月11日付で、正式文書をとりかわした。

日本協会では、とりあえず今年度は、以前から指導講習会を希望していた県と、来年以降に国体の開催を控えている県を優先するとして、栃木、長野、島根、山口、宮崎の5県を選んだ。

すでに8月10日から島根県で竹野幸昭全日本監督と穂積(湧永)ら全日本4選手、8月15日から栃木県で東嘉伸全日本男子コーチと柴田(本田技)ら全日本選手、8月20日から宮崎県で竹野監督、東コーチ、斉藤幸(大崎)ら全日本3選手による第1~第3次指導講習会を開き、このあと9月上旬長野県で竹野監督、中井、花輪、柳川中本(いずれも大同)各選手、9月26日から28日まで山口県で東コーチ、津川、穂積、福井(いずれも湧永)各選手によって、それぞれ第4次、第5次講習会を行う予定である。

講習会の費用は60%を日本体協が、残り40%を開催地側が負担することで計画され、今年度は5回分約百四十万円の交付が確定している。

◇

まさにグッドタイミング。日本協会では、日本体協の「優秀選手巡回指導」を受けついだことで、来年度から、各都道府県の要望を聞き、ナショナルチームのコーチングスタッフとプレイヤーを会場3日間の日程で派遣する事業を積極的に推し進めることとなった。

ナショナルチームの手ほどきを受けたいという要望は、最近急激に日本協会に対して高まっており荒川理事長は普及指導委、技術委などに計画の検討を望んでいたところである。

ナショナルチーム(強化委)側も、全国の若いプレイヤーや、地方の愛好者に、ナショナルチームを理解、支援してもらうためにいい機会だと全面協力を打ち出しており、来年度は、女子の全日本選手も参加することになりそうだ。

経費の40%を地元側が負担する点については、荒川理事長は財政面で余裕が出れば、体協6、日本協会2、地元2の割合で受けもつことを将来、研究したいとしている。

□安藤氏、IHF審判講習会へ

IHF(国際ハンドボール連盟)が、2年にいちど開く「国際審判員中央講習会」は8月14日から19日まで、コペンハーゲン(デンマーク)のグロストラップ・ブロンドバイスポーツハウスで行われたが日本からは、日本協会審判担当常務理事の安藤純光氏が出席した

同講習会は今回で16回目、各国の審判長とIHFのノミネートを受けた公認審判員らが参加、現行競技規則の研究、実技などを行うもので、IHF内会議では最重要とされている。

なお、9月4日から11日まで「IHF・国際コーチシンポジウム」がワルシャワ(ポーランド)で開かれるが、これには日本からは参加しない。

□強化関係の交付額決まる

日本体協とJOC(日本オリンピック委)は、モスクワオリンピック(一九八〇)へ向けて、積極的組織的な強化姿勢を推進しているが、その初年度ともいうべき、今年度の各競技団体への委託事業予算の配分を決めてこのほど通達した。

それによるとハンドボールは、来年2月の第9回世界男子選手権へ出場が決まれば、遠征旅費約七百八十五万円のうち四百七十一万円が交付されることになり、このほか、コーチの巡回指導費(国内)百二十万円のうち七十二万円の補助も決められた。

コーチの巡回指導については、日本協会は近く具体的な計画を発表する。

(注)委託事業というのは、本来、日本体協やJOCが行うべき選手強化事業を、各競技団体の強化部門にいっさいをゆだねて行うもの

□52年度競技力向上費

日本体協は、このほど昭和52年度競技力向上費の配分を決め発表したが、ハンドボールは二〇五万円と前年比三十万円増。

また、スポーツ振興事業補助金は前年同額七十五万円と決まった

このほか、教員養成大学学生スポーツ研修会の事業費として八十万円が交付される。

□来春、欧州勢と親善試合

日本協会は、本誌前号既報のとおり、来春3月から5月にかけて西ドイツ、チェコなどのクラブチームから来日の申し入れをうけているが、このほど次のような日程で、これらのチームと親善試合シリーズを組むことに決めた。

▽昭和53年3月20日~31日　VfL・ヘッペンハイム・リーベスアーバンゲン(西ドイツ男子)とVRF・マンハイム(西ドイツ女子)の滞同来日。男女各5試合の予定

▽3月27、29日　GW・フランクフルト(西ドイツ女子)。全日本女子と京都、東京で各1試合を予定

▽5月中旬　スラビア・プラハ(チェコ男子)。5試合を予定。

このほか来秋10月、西ドイツ「西ベルリンオールスター」が来日を希望していることも明らかにされている。

□選手権大会20年を祝う
全日本教職員連盟

全日本教職員選手権大会は33年8月東京で第1回大会を開いて以来、ことし20周年を迎え、8月9日長野県更埴市民体育館に60余名の関係者を集め、記念式典を開いた。

式典は、加藤雅之長野協会副理事長の司会で進められ、山田計会長の挨拶、唐木田稲次郎更埴市長の祝辞などのあと、明星ゴム工業KK、モルテンゴム工業KK両社に感謝状と記念品が贈られ、油井孝一郎長野協会副会長の乾杯で、歓談にはいった。

なお、全日本教職員連盟は、43年12月に清水市で全国代表者が集って結成されたもので、同連盟発足10年目にもあたっていた。

フリースロー

〈編集委員会論壇〉

スピードに欠けた全日本高校選手権

今夏の全日本高校選手権をみて、男女を通じ感じたことは、全体的にスピードに欠ける点である。

たしかにダブルポストでボールを廻し、敵の隙を見つけてポストへパスを入れるといった攻撃は、手っとりばやい得点源とはなるが、こういう型のチームの対戦が多かった今大会は、3点はなせばセーフティリード。

たんたんとした試合がつづき眠気を感じた観客がいるのではないかとも思われたほどだ。

やはりハンドボールの身上はスピードだ。速攻におけるダイナミックなシュート、セットにしてもスピーディナ動きとともに早いパスのつなぎから飛び込んでのシュート、いつ訪れるかわからぬシュートチャンス、目の離せないハラハラゲーム。今求められているのはそんなゲームだ。準々決勝あたりで見られたスピードのあるゲームのいくつかが、人々に感動を与えたことを見てもハンドボールゲームの面白さがどこにあるかは明らかである。

日本が国際ゲームで求められているのもスピードである。高校界もそろそろ〝パス回しゲーム〟とは訣別すべきであろう。そのためにはまずゆっくりとしたパス回しチームには点をとられないディフェンスを作らなければならない。

今大会で感じたことのもうひとつはドリブルワークの拙さである今、ハンドボールはインドアゲームへ脱皮しつつある。高校界もその傾向にあると聞く。これからはバスケットボール的なドリブルセンスや、思いもかけぬバウンズパスのセンスが要求されてくるはずである。少なくとも、右手左手と も遜色なくドリブルできる位の基本は身につけてもらいたい。

一年間の努力に期待したい。

〔山本浩二〕

日本はアジアの体制強化に乗り出せ

こういう予想は、あまり当たらないほうがよかったのだが、来年12月9日からタイのバンコクで開かれることになった第8回アジア競技大会で、やはりハンドボールの実施はムリだった。(8月19日付各紙)。

ハンドボール界の一部には、大会種目に加えられた以上、行われるのでは……いう声もあったのだが、開催地がイスラマバード(パキスタン)から、バンコクに代った時点で、ハンドボールの採用は望みうすだったのである。

ハンドボールは、4年前、テヘランで開かれたAGF(アジア競技連盟)の会議で、憲章に加えられ、アジア大会に仲間入りした。

中国や中東諸国の強い働きかけがあったもので、当時、現地に行っていた日本のスポーツライターたちは「突然加った感じ」といっていたものだ。

その勢い?をかれば、あるいは来年の大会で初採用という気にもなったが、新しく開催を引き受けたタイでは、ハンドボール組織が不完全なのだから、淡い期待というよりかなりムリな望みというべきだった。

ハンドボールの芽がタイにまったくないわけではなく、5年前、台湾協会の手によって種まきが行われている。

ただ、アジア大会に、まして縮少ムードの大会に割りこむには、あまりにもまだ小さな力でしかなかった。

アジアのハンドボール界は急速に発展している。IHF(国際ハンドボール連盟)の正式メンバーが13カ国、準加盟が2カ国。中国、パレスチナなど未加盟が4～5カ国、活動したてのシンガポールなどを加えると、一頃では考えられぬほどの数字である

問題は、それらの国々のハンドボール組織が弱体なことだ。

各国の体制強化を促すには、〝先進国〟である日本や、IHFが力を貸すのが早道で、この点日本やIHFは、これまであまりにも無関心にすぎたのではなかろうか。

日本協会が「他人のことよりまず我が身を……」と思う時期があったことも確かだが、もうそろそろ、アジアのために一肌ぬぐ姿勢が生まれてよい。

IHFとのタイアップでヨーロッパのトップクラスと日本の滞同巡回などどうか。

アジア選手権の日本開催など当分はできぬ相談だろうから、せめて、この程度の〝努力〟は示すべきだ。

そして、それがアジア大会参加を実現させる無二の道ともなるのである。

〔杉山　茂〕

新体制の編集委員会メンバーの論壇として当欄をスタートさせました。ご期待下さい

大阪イーグルスみごとな7連勝

20年目を迎えた全日本教職員選手権は，来年度の国体開催地・長野県更埴市の屋代高校グランドに男子14，女子10チームが参加して行われた。

男子は予想どおり日本リーグ前期4位の大阪イーグルスが圧倒的な強味をみせ，決勝で4年ぶりに顔を合わせたスワロー兵庫を降し7連勝，通算12度目の優勝を飾った。

女子（第5回）は2連勝を狙う岩手が緒戦で敗れ，波乱ぶくみだったが，大阪教員が安定した攻守を示し，2年ぶり4度目の栄冠を握った。

女子も大阪・全日本教職員選手権

岡山、白鷺クを破る　秋田は神奈川振り切る

▽男子1回戦

		前半	後半		
千葉教員	37	26－9	11－7	16	長崎教員
A・T・F（愛知）	32	19－5	13－4	9	ロイヤルスワロー（兵庫）
三重教員	28	13－10	15－4	14	広島教職員
大阪教員ク	29	18－6	11－4	10	岩手教員ク
群馬教員	40	19－8	21－7	15	青森教員ク
福島ク（福島）	31	15－7	16－4	11	滋賀教員
東京教員	27	13－12	14－10	22	山口教員団B
長野教員ク	22	12－9	10－5	14	佐野工高教職員（大阪）
熊本教員	33	16－7	17－5	12	山梨教員
岡山教員	26	16－12	10－9	21	白鷺ク（埼玉）
秋田県教職員	17	7－7	10－8	15	神奈川教員団
静岡県教員団	35	18－10	17－6	16	大阪教員クB

○……一方的な試合のなかで、岡山が老巧・白鷺クにせり勝った一戦がもつれた。先行を許していた白鷺は後半5分までに4点をあげ14－10としたのだが、岡山は10分すぎ森安、佐藤の活躍で再びリード、24分23－17と主導権を握った。

秋田×神奈川も激戦。後半21分14－14と予断を許さなかったが、つねに先手をとっていた秋田が22分進藤、23分菅野で16－14とはなし、神奈川の反撃を振り切った。全日本でFP転向を伝えられる秋田の斉藤は、この大会では相変らずGKをつとめた。

乱戦、福島、佐賀をかわす　千葉、イーグルスに及ばず

▽同2回戦

		前半	後半	延長		
大阪イーグルス（大阪）	28	15－12	13－4		16	千葉教員
富山教員	33	16－12	17－11		23	ストーリングス・シズオカ（静岡）
A・T・F	23	9－9	9－9	1－1、4－2	21	東京教員B
埼玉フェニックス（埼玉）	22	12－10	10－9		19	三重教員
大阪教員	26	15－9	11－7		16	栃木教員
群馬教員	34	17－14	17－9		23	山口県教員団
岐阜教員	23	12－9	11－6		15	福井教員
スワロー兵庫（兵庫）	25	15－7	10－10		17	東京教員
福島ク	35	14－16	14－12	5－5、2－0	30	佐賀教員
愛知教員	22	13－10	9－8		18	和歌山教員ク
長野教員	28	11－7	17－3		10	新潟教員
熊本教員	23	15－10	8－5		15	香川教員
岡山教員	29	17－5	12－9		14	千葉教職員ク
オールドイーグルス（大阪）	25	13－13	12－10		23	秋田県教職員
愛教ク（愛知）	24	13－12	11－7		19	宮崎教員
コンドルズ（茨城）	24	15－12	9－7		19	静岡県教員団

○……注目のイーグルス×千葉は千葉が5分2－0と巧く滑り出したが、イーグルスは6分池木のゴールを口火に連続9点、あっさり大勢が決まってしまった。千葉は後半こそ互角に射ちあったが、守りの力に差があった。

福島×佐賀は近来になく乱戦。ともにディフェンスが甘く点のとりあいから福島が前半20分あたりで優位となり、残り6分27－22と勝負を決めたかにみえた。ところが佐賀は柳本、川原らで粘りタイムアップ寸前28－28、延長となった。延長後は福島が押しまくり菱沼、後藤らでいきなり4－0（32－28）、勝負をつけた。

スワロー×東京は後半12分14－14のあと、スワローは黒田、森本らがたたみかけ快勝。愛知×和歌山は和歌山が後半、笹井の連続3ゴールで11－10と逆転したが、愛知はすぐ立ち直り、10分すぎから7点連取、大勢が決まった。

フェニックス×三重は、三重が後半の立ちあがり主導権を奪いペースを握ったと思えた。ところが粘るフェニックスは残り5分18－18から中村、山田、中野が矢つぎばやにゴールした。ATF×東京Bは後半28分16－18から追いついたATFが延長後に勢いを持ちこんで勝った。愛媛ク×宮崎も後半なかば劣勢を盛り返した愛教クが逃げ切り、オールドイーグルスは秋田の粘りをはねのけた。

★ベストセブン

全日本教職員連盟は大会終了後、今大会のベストセブンを次のように決め、発表した。

▽GK　本田洋（大阪イーグルス）▽FP　福井稔、高橋精一、池本進（以上大阪イーグルス）、山田克彦（埼玉フェニックス）、中出明（大阪教員ク）松岡猛（スワロー兵庫）

ATF、後半の粘り実らず

▽同3回戦

		前半	後半		
大阪イーグルス	24	11－12	13－3	15	富山教員
埼玉フェニックス	17	7－7	10－6	13	A・T・F
大阪教員ク	28	15－4	13－7	11	群馬教員
福島ク	21	11－5	10－6	11	岐阜教員
スワロー兵庫	24	11－6	13－4	10	愛知教員
熊本教員	21	10－8	11－3	11	長野教員ク

岡山教員 25（13−7、12−6）13 オールドイーグルス

コンドルズ 21（10−6、11−4）10 愛教ク

○……ベストエイト進出をかけた割合には大味な展開が多く、波乱の少ない結果だった。

そのなかでフェニックス×ATFが、後半ATFの粘りで盛りあがった。

4点差を追うATFは角、水藤らで追い14分富田で11−11とした。しかし、フェニックス15、17分と仲尾の連続ゴールと19分山田で14−11と突き放したのが大きく、勝利につながった。

このほか、福島クがまとまりのある攻守で岐阜を降したのと富山が、ともかくも後半、イーグルスを上廻るポイントをあげたのが目立った。

健闘の岡山力つきる

▽同準々決勝

大阪イーグルス 33（17−5、16−8）13 埼玉フェニックス

【埼玉】		得
GK	細井	0
FP	中野	2
	田村	0
	中村	4
	斉藤	0
	太利	2
	飯島	0
	山田	5

【大阪】		得
GK	木田	0
	広川	0
FP	高橋	5
	池本	4
	橋本	3
	河原崎	2
	早川	9
	福井稔	7
	足羽	0
	北居	2
	福井孝	1
	山口	0

（審・佐野、後藤）

33（3）PT（1）13

○……イーグルスは速攻を主体に確実に得点、15分9−4と早くも優勢。フェニックスは相手の固い守りを攻めあぐみ、逆速攻をうけて時間の経過とともに点差があいた。（杉木真一）

大阪教員 30（17−5、13−7）12 福島ク

【福島】		得
GK	富田	0
	遠藤	0
FP	佐藤	5
	後藤	3
	上野	1
	藍原	0
	菱沼	1
	伊藤	2
	佐々木	0
	菅野	0

【大教】		得
GK	藤井	0
FP	久下	2
	中村	7
	池本	2
	谷口	4
	大山	2
	中出	9
	北田	2
	川原	2

（審・丸岡、幸田）

30（1）PT（1）12

○……先取点は福島があげたが、大阪は速いボール廻しとフェイント、カットインなどで好機をつかみ、個人のシュート力に頼る福島に前半で勝負をつけた。（竹野秀輝）

スワロー兵庫 24（12−4、12−9）13 熊本教員

【兵庫】		得
GK	上野	0
	松野	0
FP	松岡	4
	藤田	3
	矢辺	6
	森本	3
	山村	0
	浜田	4
	北山	0
	畑	2
	黒田	1
	西川	1

【熊本】		得
GK	阪本	0
	島田	0
FP	緒方	0
	松川	2
	矢住	2
	芦原	0
	山川	6
	佐々木	2
	切通	1
	岡村	0

（審・斉藤、千野）

13（0）PT（0）24

○……相手のミスから優位に立ったスワローだが、熊本の闘志も鋭く後半に勝負がかかった。

しかし後半、スワローは15分14−9としたスパートが利き、なかばすぎからはやや一方的な経過。（青木 崇）

コンドルズ 21（12−4、9−6）10 岡山教員

【岡山】		得
GK	藤原	0
FP	森安	5
	瀬島	2
	小林	0
	船越	1
	佐藤	1
	守安	1

【コン】		得
GK	大村	0
	谷萩	0
FP	池田	5
	立原	4
	中村	1
	福永	3
	細谷	1
	大西	4
	大川	1
	松金	2

21（1）PT（0）10

○……両チームとも前半はよく走り好テンポだったが、後半になると体格にまさるコンドルズが押しまくり、この大会健闘した岡山もついに力つきた。（宮田紘郎）

歴代優勝チーム

○……男　子……○

①昭32	茨城教員ク
②	東京教員団
③	神戸ストーク
④昭35	～休会～
⑤	大阪教員ク
⑥	大阪イーグルス
⑦	大阪イーグルス
⑧	大阪イーグルス
⑨	大阪イーグルス
⑩	大阪イーグルス
⑪	埼玉教員ク
⑫	東京教員
⑬	埼玉教員
⑭	大阪イーグルス
⑮	大阪イーグルス
⑯	大阪イーグルス
⑰	大阪イーグルス
⑱	大阪イーグルス
⑲	大阪イーグルス
⑳昭52	大阪イーグルス

○……女　子……○

①昭48	大阪教員
②	大大阪教員
③	大大阪教員
④	岩手教員
⑤昭52	大阪教員

スワロー、コンドルズおさえる

▽同準決勝

大阪イーグルス 24（16−7、8−4）11 大阪教員ク

【大教】		得
GK	藤井	0
FP	久下	3
	中村	2
	池本	3
	谷口	1
	大山	1
	中出	0
	北田	0
	川原	1

【大阪】		得
GK	本田	0
	広川	0
FP	福井稔	3
	早川	2
	池本	8
	足羽	0
	河原崎	2
	高橋	6
	橋本	0
	北居	3
	山口	0

（審・佐野、後藤）

24（3）PT（2）11

○……大阪はイーグルスの堅陣を崩すため、早いタイミングで攻めこみ15分3−4と食い下ったが、しだいに無理な体勢から射った場面が多くなり、イーグルス・池本の速攻をうけ、後半になると日本リーグで戦う相手のエネルギッシュな攻守に完全に圧倒された。（吉田 元）

スワロー兵庫 25（14−10、11−4）14 コンドルズ

【兵庫】		得
GK	上野	0
	松野	0
FP	浜田	7
	森本	2
	矢辺	3
	松岡	2
	坂本	5
	中村	3
	畑	3
	黒田	0
	藤田	0
	西川	0

【コン】		得
GK	大村	0
	谷萩	0
PF	立原	3
	池田	4
	中村	5
	福永	0
	細谷	2
	大西	0
	大川	0
	松金	0

（審・若山、村井）

14（1）PT（1）25

○……スワローが速いボール廻しで相手の守りを崩し、ジャンプ、ポストと射ち分けたのに対し、コンドルズは攻めが単調、それが予想外の大差につながった。

コンドルズは最後まで自分のペースをつかめず悔いを残したのではなかろうか。（越田義昭）

▽同3位決定戦

コンドルズ 14（4−3、10−6）9 大阪教員ク

○……両チーム激しい闘志をぶつけあったが、勝負を分けたのは前半25分すぎ大阪が6−9から三本のノーマークシュートを相手GK大村に阻まれた場面だ。これでコンドルズはすっかり落ち着き、後半やや得点力が落ちたものの逃げ切った。（三枝慶彦）

スワロー、先行も空し

▽同決勝

大阪イーグルス 23（12−6、11−7）13 スワロー兵庫

【兵庫】		得
GK	松野	0
	上野	0
FP	中村	0
	阪本	0
	松岡	2
	矢辺	1
	森本	4
	浜田	5
	畑	0
	北山	0
	黒田	0
	藤田	1

【大阪】		得
GK	本田	0
	広川	0
FP	高橋	3
	福井稔	5
	早川	5
	河原崎	3
	池本	4
	橋本	2
	福井孝	0
	足羽	0
	北居	1
	山口	0

（審・斉藤、千野）

23（1）PT（0）13

○……4年ぶり4度目の対決。教員界の代表的なカードである。

しかし、この4年間、日本リーグに籍をおき、ますます試合運びに磨きがかかったイーグルスは、序盤こそスワローの先行を許したが、16分5−5のタイのあとは、臨機応変の攻撃とGK本田のおと

ろえを知らぬ堅守で、スワローにつけいるスキを与えず、堂々たる〝横綱相撲〟をみせた。

スワローも松岡、浜田を中心に打倒イーグルスのファイトに燃えたが、前半13分5－5以外はリードを奪えず後半7分9－13までが精いっぱい、健闘空しかった。

岩手の2連勝成らず 女子

▽女子1回戦（2試合）

大阪教員B 27（9－3 18－3）6 岐阜女子教員

長崎県女子教員団 13（6－2 7－5）7 山口県教員団

▽同準々決勝

大阪教員B 10（6－2 4－4）6 岩手教員

【岩手】		得
GK	安藤	0
FP	高橋恵	2
	橋	0
	熊谷	0
	川井	2
	中島	0
	三浦	1
	高橋し	1

【大阪】		得
GK	吉田	0
	沖永	0
FP	中村	1
	花谷	4
	沢田	3
	木下	1
	辻	0
	小倉	1
	繁田	0
	大谷	0
	三輪	0
	桑原	0

（審・加藤・後藤）

10（1）PT（0）6

長崎県女子教員団 9（4－3 5－1）4 愛知教員

大阪教員 19（7－5 12－7）12 武蔵野ク（東京）

埼玉・栃木ク 16（7－3 9－1）4 芙蓉ク（兵庫）

○…2連勝を目指した岩手が大阪のBチームに食われた。

立ちあがり再三の好機を大阪GK吉田におさえられたのが痛く、すっかりペースを狂わしてしまった。大阪は数少ないチャンスを花谷、沢田らが巧く活かし後半15分10－4と差をつけ、岩手必死の反撃をみごとに振り切った。

大阪×武蔵野は後半2分1点差に迫られた大阪Aが、そのあと連続7ゴールして勝負をつけ、長崎×愛知は、前半なかば優位に立った長崎が、後半も着実に加点、完勝した。

埼玉・栃木×芙蓉は脚力にまさる埼玉・栃木が序盤から押しまくった。

大阪同士の決勝は成らず

▽同準決勝

埼玉・栃木ク 10（7－6 3－3）9 大阪教員B

【大阪】		得
GK	吉田	0
	沖永	0
FP	小倉	1
	辻	2
	木下	0
	沢田	3
	花谷	2
	中村	1
	繁田	0
	大谷	0
	三輪	0
	桑原	0

【埼栃】		得
GK	長谷川	0
FP	木元	3
	山田	1
	渡辺	0
	桜井	3
	大谷	2
	大島	1
	中村	0
	仲田	0

（審・後藤・加藤）

10（1）PT（2）9

○…埼玉・栃木はタイムアップ直前に得たPTを木元が見事に決め、劇的なサヨナラ勝ち。

埼玉・栃木は前半20分7－3とリードしたのだが、大阪Bの粘りにあって苦しくなり、後半23分9－8からPTで同点に追いつかれた。このあたり大阪Bの試合ぶりはみごとなものがあったのだが、埼玉・栃木は最後、勝運を呼び戻した。（中島恒夫）

大阪教員 20（9－7 11－2）9 長崎県女子教員団

【長崎】		得
GK	谷本	0
FP	松本	6
	岡	0
	小田	0
	浜本	0
	藤山	3
	鶴尾	0

【大阪】		得
GK	片山	0
	堀川	0
FP	畑中	5
	太田	1
	名賀	1
	岩本	5
	小西	4
	川崎	3
	津熊	1

（審・竹野・越田）

20（0）PT（2）9

○…立ちあがりはともに固さがみられたが、大阪Aは10分すぎから本調子、GK片山の好守や相手パスのカットから好機をつかみ、速攻でポイント。後半10分16－4と大差をつけ、楽勝だった。

長崎は、得点源が松本、藤山に片寄り、夏場だけに交代選手のいない不利も手伝った。（幸田太之）

▽同3位決定戦

大阪教員B 12（4－5 5－4 …… 2－1 1－0）10 長崎県女子教員団

○…後半21分9－7とした長崎の勝利は動かないとみえたが、大阪Bは22、23分沢田が起死回生の連続ゴールを決めて延長。波にのった沢田は延長前半さらに2ゴールして味方を優位におく活躍をみせた。長崎にとってはあきらめ切れない一戦といえよう。（三枝）

▽同決勝

大阪教員 8（4－2 4－2）4 埼玉・栃木ク

【埼栃】		得
GK	長谷川	0
FP	大島	0
	大谷	0
	木元	1
	山田	2
	渡辺	1
	桜井	0
	仲田	0

【大阪】		得
GK	片山	0
	堀川	0
FP	川崎	0
	小西	1
	岩本	4
	名賀	1
	太田	0
	畑中	2
	津熊	0

（審・中島・青木）

8（0）PT（0）4

○…埼玉・栃木は前半10分0－2の劣勢を11分渡辺、18分山田で返し、決勝らしいせりあいとなったが、大阪Aは20分すぎ岩本と畑中で優位をキープ、後半も巧く加点して13分6－2と先行した。

埼玉・栃木もこのあと2点をあげ、なお予断を許さなかったのだが、射ち急ぎから好機をつぶし、逆に大阪・岩本の速攻をうけて、点差を開かれてしまった。

個人技能、コンビネーションにまさる大阪Aの順当な勝利といっていい。（杉本）

「研修会」も盛況

第20回全日本教職員選手権大会前日の8月9日午後3時から5時まで長野県更殖市・老人福祉センターで全日本教職員連盟主催の「ハンドボール研修会」が開かれた。

発表者が8名に及び、時間の足りないのが残念であったが、約100名の参加者とともに、熱気にみちた研修会となり、いかにも教職員大会にふさわしい企画といえた。

女子は鶴城ク(熊本)2度目
男子も熊本のマリスト

全国中学生

第6回全国中学生大会は8月17日から20日まで茨城県鹿島郡・鉾田二高に初登場の北海道女子をはじめ全国各ブロックの予選を経た男女各16校が参加して行われた。

大会は、16日麻生町の麻生中学で開会式のあと、17日から熱戦を展開、関東地方をおそった集中豪雨に日程を大きく狂わせられながらも、いちだんとレベルアップした各チームが、好内容をみせ盛りあがった。

その結果、男子は前年ベストエイトのマリスト学園(熊本)が、地元の声援をうけた鬼怒(茨城)の追撃をかわして初優勝。

女子は、鶴城ク(熊本)が3年連続決勝へ進出、汐路(愛知)の善戦を退けて2年ぶり2度目の優勝を飾った。熊本代表は4連勝。

男女とも、かなり地域差がうすれ、実力の均こうが目立ったものの、ベストエイトをみると、今大会初めての進出は男子の滋賀県と女子の沖縄県だけ。

伝統地域は、がっちりその堅城を守っていた。

ちなみに、ベストエイト進出の都道府県の6回通算数を調べてみると、男子は北海道、愛知、山口、大阪の各4回を筆頭に茨城の延べ4回がつづき、以下、富山、岐阜、熊本の各3回、石川、神奈川、和歌山、広島、香川、長崎の各2回、宮城、岩手、東京、滋賀各1回となっている。

女子は熊本の延べ6回を最高に第1回以来連続進出の福島が今回1回戦で敗退したものの5回で茨城と並び、石川、岐阜、愛知、大阪が各4回、山口3回、栃木、福井、滋賀、香川各2回、富山、奈良、兵庫、広島各1回である。

なお、今大会は当初、麻生町で開会式をふくめ3日間の予定だったが、雨のため日程がくずれ、男女とも決勝は一日延期して行うという異例の処置がとられた。

▽男子1回戦

彦根西(近畿 滋賀)	12	4−5 8−6	11	城南(九州 福岡)
汐路(東海 愛知)	14	8−6 6−5	11	拝島(関東 東京)
鬼怒(関東 茨城)	21	11−3 10−5	8	土佐(四国 高知)
芦城(北信越 石川)	9	6−4 3−4	8	下松(中国 山口)

男子参加選手名簿

(清水・北海道) GK合掌、砂上居、FP山口、佐藤英、佐原、茂野、川瀬、辻、宮崎、武藤、川口佐藤秀

(郡山一・福島) GK五十嵐、荒川、FP佐藤喜、大河原、皆川、佐藤充、宮道、児玉、黒川、菅家佐藤政、三野、松原、川瀬、厚

(小松芦城・石川) GK松尾、高田、FP園下、北村、林(直)、中山、藤井、角、徳海、林(浩)、橋本、銭田、関戸、森田、小川

(氷見西部・富山) GK西田、片山、FP瀬戸茂、川崎、坂、中原瀬戸政、斉藤久、水上、斉藤英、名臣、山本、西山、堂田、新堂

(拝島・東京) GK山口、宇田川、FP大木、小山、江沢、柿崎、木村、近藤、佐久間、野崎、富士野石合、清水、田野倉、毛利

(鬼怒・茨城) GK沼尻、後藤、FP松村、田村、姥原、永瀬、羽島、吉見、飯島、大里、広瀬、吉川、橋本、針替、倉持

(麻生選抜・茨城) GK宮内雅、高野、FP藤崎政、芝、宮内伸、茂木、浜田、須賀、藤崎広、出沼辺田、高須、石神、高木、石川

(汐路・愛知) GK太田、森川、FP水田、倉見、成田、久野、岡田、徳永、斉藤、清島、大江、鈴木、桑原、辻、野呂

(加納・岐阜) GK苗村、安藤、FP田辺、羽田、井藤、洞山、堀宮島、馬渕、熊崎、亀山、浅野弘浅野剛、浅井

(彦根西・滋賀) GK尾本、山本、FP大久保、堀部、室谷、山内、中村、高田、杉本、北村、鹿野、中川、片山、岡部、片岡

(金屋・和歌山) GK前(任)、松本幸、FP新家、吹上、山本、抜井、田甫、服部、松本推、前(忠)、大橋、石谷、西村、中井、根本

(修道・広島) GK戸田、大谷、FP成瀬、吉江、絹谷、松浦、児玉、橋詰、中村、長沼、楠、川本尾崎、横田、小島

(下松・山口) GK弘中和、中西、FP長江、川田、武居、上田、弘中郁、斉藤、角、前野、塩足、菅野、有本、相本、橋津

(土佐・高知) GK大井、薮、FP門田、山本裕、市川、小松、浜野、尾木、大石、沢田、山本桂、西森、笹岡

(マリスト・熊本) GK普天間、比嘉哲、FP照屋、上村、比嘉徹、内間、吉野、金城、長浜、当銘、飯野、高良

(城南・福岡) GK中垣、日野圭、FP米沢、増田浩、萩、小柳、西里、増田和、日野賢、小屋敷、北原、上野、吉川、名越

☆年次優勝チーム

(男子)

①	(昭47)	東港(愛知)
②		笹島(愛知)
③		東陽(大阪)
④		御桜ク(愛知)
⑤		生駒(奈良)
⑥	(昭52)	マリスト(熊本)

(女子)

①	(昭47)	福泉南(大阪)
②		福泉南(大阪)
③		小川ク(熊本)
④		鶴城ク(熊本)
⑤		氷川(熊本)
⑥	(昭52)	鶴城ク(熊本)

女子参加選手名簿

(釧路・北海道) GK佐藤浩、畑村、FP内田、山本、門田、問美伊藤、佐藤日、坂本、秋元、梅本村田、工藤、菅原

(郡山一・福島) GK秋山、入谷、FP木村、半沢、千葉、佐藤則、佐藤律、折笠、早坂、椽田、草野清水、国分、西条、渡辺

(小松南部・石川) GK宮野、吉田、FP高林、吉岡、尾田、赤井井上、元、笹田、藤田、山口、清水

(般若・富山) GK小林、山崎、FP山本、丸岡、金井、福田、安藤、八田鏡、池田、豊川、納藤珠納藤真、八田泉、斉藤、通

(拝島・東京) GK吉永、高橋奈

麻生選抜（茨城）8（3－3、5－4）7 氷見西部（北信越・富山）

マリスト学園（九州・熊本）19（11－2、8－3）5 清水（北海道）

金屋（近畿・和歌山）14（6－4、8－5）9 修道（中国・広島）

加納（東海・岐阜）10（7－1、3－7）8 郡山一（東北・福島）

▽同準々決勝

汐路 12（6－4、6－7）11 彦根西

鬼怒 12（6－3、6－5）8 芦城

金屋 12（6－4、6－6）10 麻生選抜

マリスト学園 13（6－4、7－5）9 加納

▽同準決勝

鬼怒 13（6－6、7－6）12 汐路

マリスト学園 18（8－8、10－3）11 金屋

▽同決勝

マリスト学園 12（8－3、4－7）10 鬼怒

【鬼怒】	得
沼尻	0
後藤	0
松村	0
田村	0
羽鳥	3
吉見	3
広瀬	4
吉川	0
嶋原	0
永瀬	0
飯島	0
大里	0

GK（沼尻、後藤）　FP（松村以下）　（審・矢沢、岡本）

【マリ】	得
普天間	0
比嘉哲	0
照屋	6
上村	0
内間	3
吉野	3
当銘	0
高奈	0
比嘉徹	0
金城	0
長浜	0
飯野	0

GK（普天間、比嘉哲）　FP（照屋以下）

12（0）PT（2）10

汐路、滋賀選抜を降す

▽女子1回戦

麻生選抜（茨城）13（5－1、8－1）2 釧路北（北海道）

汐路（東海・愛知）10（5－2、5－1）3 般若（北信越・富山）

滋賀選抜（近畿）13（6－1、7－3）4 比治山（中国・広島）

仲西（九州・沖縄）9（6－2、3－5）7 拝島（関東・東京）

南犬飼（関東・栃木）10（4－1、6－6）7 岩国（中国・山口）

南部（北信越・石川）9（4－1、5－1）2 山田（四国・香川）

大宮（近畿・大阪）12（7－5、5－3）8 郡山一（東北・福島）

鶴城ク（九州・熊本）8（2－5、6－2）7 加納（東海・岐阜）

▽同準々決勝

汐路 7（4－0、3－2）2 麻生選抜

南犬飼 11（6－1、5－5）6 南部

鶴城ク 16（8－3、8－7）10 大宮

滋賀選抜 10（4－5、6－0）5 仲西

▽同準決勝

汐路 11（4－3、4－5：1－1、2－1）10 滋賀選抜

鶴城ク 11（3－2、8－3）5 南犬飼

▽同決勝

鶴城ク 15（6－2、9－5）7 汐路

【汐路】	得
中島	0
下条	0
義井	2
葛島	0
後藤	1
三宅	2
杉野	0
原田	0
柴田	2
畑中	0
八木	0
加藤	0

GK（中島、下条）　FP（義井以下）　（審・広沢、川岸）

【鶴城】	得
高浜	0
積谷	0
田島	1
柴田	0
秋月	0
米原	0
岡部	1
佐藤	3
成田	3
中島	6
猿渡	1
桜間	0

GK（高浜、積谷）　FP（田島以下）

15（1）PT（1）7

FP奥積、粂川、松本、安沢、高橋晴、宮下、野崎、小池、小川、橋本、渡辺、成本、小山

〔南犬飼・栃木〕GK粟原、小林 FP岩谷、大栗、中間、青柳紀、水島、鳥居、湯木、青柳都、野口、小平、猪瀬、綱川、杉原

〔麻生選抜・茨城〕GK鬼沢、小貫、FP牛井沢、箕輪由、鈴木、小沢、宮内、浜野、安藤、内田、須藤、諸岡、菅谷、永作、箕輪洋

〔汐路・愛知〕GK中島、下条、FP義井、葛島、後藤、三宅、杉野、原田、柴田、畑中、八木、加藤、森山、堀田

〔加納・岐阜〕GK石榑、佐藤、FP木村、小野島、不破、大住、葛西、河口、平下、深尾、柿内、保谷、江原、西堀、松波

〔大宮・大阪〕GK清原、山中か FP蘇、金原、赤山、秋成、池野、郷野、橋山、安田、吉田、山中み、浅子、細井、西

〔滋賀選抜〕GK高木、松沢佐、FP貫名、北川、久保田、歯黒、下沢、松沢美、坪田、佐野、橋野、大嶋、高嶋、徳永、山岸

〔比治山・広島〕GK青野、杉原 FP天方美、阿部、大神、高橋、原田、角振、笠木、三野本、天方稔、甫出、水木、矢野、堀田

〔岩国・山口〕GK山田、土井、FP戸田、重岡、野村、上村、由宇、蔵野、大江、森本、秋田、斉藤、歌川、庄司、植田

〔山田・香川〕GK森本、FP岡原、粋山、川原、香西、川西、古川、村尾、谷本、森長

〔鶴城ク・熊本〕GK高浜、積谷 FP田島、柴田、秋月、米原、岡部、佐藤、成田、中島、猿渡、桜間、野島、清村、高木

〔仲西・沖縄〕GK吉元、比嘉菊 FP名嘉、東江、富山、真島、又吉、悦、吉浜、宇根、銘苅、比嘉初、池原、仲西、泉

世界選手権の日程決まる

IHF（国際ハンドボール連盟）は、このほど来年の第9回世界選手権Aグループの詳細な日程を発表した。アジア大陸代表は既報のとおり予選リーグD組に出場するが、その日程は次のとおり。

▽第1戦、1月26日、対ポーランド（ブロンドバイ市）▽第2戦 1月28日 対スウェーデン（ケーグ市）▽1月29日 対ブルガリア（ナエストヴェッド市）

予選リーグ各組上位2カ国の準決勝リーグに進出、同3位国は9～12位決定戦を行う。13～16位決定戦はない。

成年男子に47県が参加

女子は日本リーグ勢並ぶ

青森国体

第32回国民体育大会は10月2日から7日まで青森県野辺地町立体育館を中心に行われるが、九州、東海を除く各ブロック代表が次々と決定。8月中には全参加チームが出揃う。

今年から、ハンドボール競技も、全県参加種別の採用に踏み切り、成年男子から教職員の部が姿を消した。

47県が参加するのは、今年は成年男子で、鳥取、島根、宮崎、徳島からも初めて代表チームが送られてくる。組み合せの決定は9月3日。

本誌〆切り（8月25日）までに届出られた代表チームは次のとおり。

○……成年女子……○

北海道、青森、福島（東北ムネカタ）、石川（北国銀行）、茨城（日本ビクター）、大阪(大和銀行)、山口(徳山ク)、高知（高知ク）

○……少年男子……○

北海道、青森、岩手(全岩手)、福島（全福島）、富山（氷見高）、東京（高校選抜）

○……成年女子……○

北海道、青森、福島（東北ムネカタ）、岩手（全岩手）、石川（北国銀行）、茨城（日本ビクター）、大阪（大和銀行）、山口（徳山ク）、高知(高知ク)

○……少年男子……○

北海道、青森、福島(全福島)、岩手（全岩手）、富山（氷見高）、東京（高校選抜）、和歌山(県選抜)、山口（岩国工高）、愛媛（新居浜工高）

○……少年女子……○

北海道、青森、秋田(大曲農高)、福島(全福島)、石川(小松市女高)、千葉(昭和学院高)、大阪(選抜)、広島(山陽女高)、愛媛（新居浜市商高）

（注）ブロック決勝記録は次号に掲載します。

○……成年男子（各県決勝記録・報告分）……○

▽秋田（参加6）
湯沢ク 32―18 大農ク

▽岩手（参加3）決勝リーグ
岩手教員ク 27―17 盛岡商友会
盛岡商友会 29―20 白亜ク
岩手教員ク 39―13 白亜ク
【順位】①岩手教員ク②盛岡商友会③白亜ク

▽茨城（参加6）
自衛隊勝田 24―13 日本原子力研

▽群馬（参加5）決勝リーグ
前橋ク 14―7 前工ク
富岡ク 15―13 甘楽ク
群馬教員 29―15 前工ク
甘楽ク 20―17 前橋ク
群馬教員 23―22 富岡ク
甘楽ク 25―17 前工ク
富岡ク 32―23 前橋ク
群馬教員 30―21 甘楽ク
富岡ク 不戦勝 前工ク
群馬教員 49―17 前橋ク
【順位】①群馬教員②富岡ク③甘楽ク④前橋ク⑤前工ク

▽埼玉（参加2）
大崎電気 37―23 埼玉フェニックス

▽石川（参加8）
金沢あすなろク 20―14 金沢市役所

▽富山（参加4）
氷見ク 18―10 富山教員

▽福井（参加5）
福井教員 32―9 光陽会

▽島根（参加2）
朝酌ク 24―11 島根町体協

▽鳥取推せん
境港市役所

▽高知（参加4）
高知ク 35―11 吾北ク

▽香川
瀬戸ク 21―14 香川ク

▽愛媛（参加4）
松山ク 12（延）10 住友化学菊本

▽大分（参加4）
新日鉄大分 34―24 日吉会

▽熊本
熊本教員、熊本カローラ、熊本トヨタ、本渡ク、水俣ク、本田技研、菊農OB、城南ク、渓烽、熊本クの10チームから34名の候補選手を選び、3チームに分けて選考試合の結果「全熊本」を編成。

ブロック中学大会

関東（第6回）◇7月23、24日◇埼玉県浦和市民体育館◇参加男8、女8

▽男子1回戦
中和田（神奈川）12（5―5、7―1）6 十二月田（埼玉）
鬼怒（茨城）21（13―2、8―4）6 山梨北（山梨）
拝島（東京）27（17―3、10―6）9 柏第三（千葉）
埼玉選抜（埼玉）15（8―3、7―3）6 足利チーム（栃木）

▽同準決勝
鬼怒 15（6―3、9―6）9 中和田
拝島 12（3―1、9―9）10 埼玉選抜

▽同決勝
鬼怒 15（10―8、5―9）17 拝島
水海道市立鬼怒中は初優勝

▽女子1回戦
拝島（東京）13（5―3、8―1）4 片岡（群馬）
塩山（山梨）9（4―3、5―3）6 柏第三（千葉）
南犬飼（栃木）9（5―4、4―2）6 北浦（茨城）
左近山（神奈川）27（11―4、16―0）4 八潮（埼玉）

▽同準決勝
拝島 4（2―2、2―1）3 塩山
南犬飼 9（4―3、5―3）6 左近山

▽同決勝
南犬飼 5（0―1、5―0）1 拝島
壬生町立南犬飼中は初優勝

中国（第5回）◇7月25日◇岡山県営体育館◇参加男4、女3

▽男子1回戦（＝準決勝）
下松（山口）44（19―2、25―2）4 境港第一（鳥取）
修道（広島）16（8―1、8―4）5 茶屋町（岡山）

▽同決勝
下松 16（8―6、8―4）10 修道
下松市立下松中は3連勝

▽女子リーグ
岩国（山口）14（6―1、8―1）2 茶屋町（岡山）
岩国 22（11―4、11―2）6 比治山（広島）
比治山 17（8―5、9―2）7 茶屋町
【順位】①岩国②比治山③茶屋町
岩国市立岩国中は3年ぶり3度目の優勝。

〈リポート〉

モントリオール・オリンピック日本代表選手の体格体力について

熊本県立教育センター 新立義文
熊本大学体質医学研究所 沢田芳男

はじめに

日本のハンドボールが、モントリオール・オリンピックでアベック出場の念願を果たしたことは非常によろこばしいことである。

しかし、オリンピックでの成績は本誌に既に報告されたとおりであり、善戦したこととは言え女子チームが6チーム出場中5位の成績にとどまった。

世界のハンドボールは、技術的な面でのレベルアップはもちろんのことであるが、体力、競技力の面でも種々と研究され、次回のモスクワ大会へと布石がなされているとも考えられる。この中にあって、一九七七年度の第二回日本リーグもいよいよ開始され、それぞれのチームが、学生界、高校界から有望な選手を迎え入れ最強のチームづくりに傾倒している。

そこで、われわれは、モントリオール大会の年に、日本ナショナルチーム男子および女の体格、体力について計測する機会を得たわけであるが、今日、日本を代表した選手の体格、体力を他種競技とくに、モントリオール・バレーボールチームおよびミュンヘン・オリンピック・競泳選手、水球選手バレーボールならびにハンドボールチームと比較しながら検索し、競技特性を体質学的に検討を加えハンドボールのプレイにおける体力トレーニングの方法を見出す手がかりを得るための基礎資料として次のような結果を得たので報告する。

検査対象者および調査期日

被験者は、一九七六年モントリオール・オリンピック出場のハンドボール日本代表チームのメンバーで男子12名、女子12名の全選手である。

調査期日は、昭和51年3月初旬から4月初旬にかけて実施した。

調査項目

調査は、国際体力テスト標準化項目および文部省体力テストに準拠したが、項目はつぎのとおりである。（今回の報告は集団としてみた）a：体格、身体組成面での特徴をつかむための生体計測

身長、体重、座高、胸囲、肩峰幅、腸骨稜幅、胸郭幅、胸郭前後径、右上腕囲、右前腕囲、右手首囲、右手囲、右大腿囲、右下腿囲、右足首囲、除脂肪周径（右上腕、右前腕、右大腿、右下腿）および皮脂厚（右上腕背部、肩甲下部、右上腕前部、右前腕部、臍部、腸骨稜部、右大腿前上部、右下腿背部ー膝窩部ーの8ヵ所）の計測を行なった。

b：機能面の特徴をつかむためのテスト

(イ) 体力診断テスト

肺活量、左右握力、背筋力、立位体前屈柔軟度、仰臥上体おこし(Sit-Ups)、垂直とび、およびシャトル・レース(Shuttle run)を行なった。

(ロ) 運動能力テスト

運動能力をみるため、立ち幅とび、ボール投げ（ハンドボール投げ）および12分間走能力の測定を行なった。

〔表1〕ミュンヘンオリンピック日本代表選手（4競技）の体格体力の平均値・標準偏差

（昭和47年度；日本体育協会報告書）

種目（性）		水球（男子）N=10		競泳（女子）N=11		バレーボール（男子）N=12		バレーボール（女子）N=12		ハンドボール（男子）N=12	
項目＼統計事項	単位	x̄	s	x̄	s	x̄	s	x̄	s	x̄	s
身長	cm	176.13	3.28	163.00	4.56	190.00	5.59	171.83	4.19	179.56	5.37
体重	cm	73.46	4.08	56.95	4.43	84.33	3.85	66.41	4.97	73.58	4.24
座高	cm	94.41	1.79	88.25	2.21	100.66	4.17	91.14	2.11	96.75	2.80
胸囲	cm	97.31	3.55	86.14	3.81	100.83	2.86	86.52	2.90	93.41	2.30
上腕囲（右）	cm	30.17	1.83	26.59	1.32	29.83	1.09	26.27	1.57	27.95	1.19
前腕囲（右）	cm	26.71	0.81	23.77	0.91	28.04	1.12	24.56	0.74	27.21	0.70
大腿囲（右）	cm	54.20	1.63	52.30	1.84	59.03	1.96	56.66	1.01	56.25	1.98
下腿囲（右）	cm	36.15	2.08	33.91	1.43	39.28	1.86	37.45	0.85	38.90	1.63
握力（右）	kg	57.00	5.41	36.05	4.72	58.90	7.00	32.66	4.44	59.41	5.91
〃（左）	kg	52.95	5.21	34.11	3.92	59.27	5.22	29.66	3.67	52.72	5.32
背筋力	kg	140.00	10.61	85.25	14.59	176.95	17.07	123.90	16.05	159.18	20.11
垂直とび	cm	54.28	4.08	44.56	7.09	86.08	5.26	55.37	3.77	63.60	6.85
反復横とび	Times	52.75	1.87	36.00	3.12	52.75	1.88	48.18	2.28	50.85	1.97
体前屈	cm	18.03	5.48	19.86	4.67	14.33	10.45	18.90	5.23	10.87	5.26
肺活量	cc	5118.00	453.20	3668.98	273.10	—	—	4091.66	607.33	5250.00	702.59
比体重		41.74	2.34	34.90	2.10	44.37	1.22	38.64	2.35	40.97	2.03
比胸囲		55.27	0.21	52.85	1.63	53.10	0.60	50.36	1.78	52.07	2.03
ローレル指数		134.40	11.50	131.00	7.80	122.75	8.90	130.16	7.50	126.75	8.35
比背筋力		1.93	0.24	1.54	0.24	2.09	0.22	1.86	0.22	2.16	0.25

〔表2〕モントリオールオリンピック出場のハンドボール代表選手（男女）の体格の平均値・標準偏差

性別		男子				女子			
測定項目	統計事項	n	$\bar{x}$	s	≦m≦（α＝0.05）	n	$\bar{x}$	s	≦m≦（α＝0.05）
身長	cm	12	180.3 (51.4)	4.65	177.35≦m≦183.25	12	163.0	4.26	160.30≦m≦165.70
体重	kg	12	78.35 (61.1)	5.73	74.71≦m≦ 81.99	12	63.15	6.82	58.82≦m≦ 67.48
座高	cm	12	96.6 (16.5)	1.81	95.45≦m≦ 97.75	12	88.5	2.77	87.01≦m≦ 90.56
胸囲	cm	12	96.0 (61.3)	4.01	93.45≦m≦ 98.55	12	86.3	2.68	84.60≦m≦ 88.00
肩峰幅	cm	12	41.4	1.32	40.56≦m≦ 42.24	12	38.3	0.92	37.72≦m≦ 38.88
腸骨棘幅	cm	12	29.5	1.16	28.76≦m≦ 30.24	12	28.2	1.23	27.42≦m≦ 28.98
胸郭幅	cm	12	29.3	1.83	28.14≦m≦ 30.46	12	25.9	0.65	25.49≦m≦ 26.31
胸部前後径	cm	12	20.1	0.66	19.68≦m≦ 20.52	12	17.8	1.18	17.05≦m≦ 18.55
上腕囲(右)	cm	12	29.9 (71.6)	1.64	28.86≦m≦ 30.94	12	27.7	1.56	26.71≦m≦ 28.69
前腕囲(右)	cm	12	28.2 (61.3)	0.94	27.60≦m≦ 28.80	12	24.4	0.87	23.85≦m≦ 24.95
手首囲(右)	cm	12	17.8	0.67	17.37≦m≦ 18.23	12	16.3	1.03	15.65≦m≦ 16.95
手囲(右)	cm	12	21.6	0.73	21.14≦m≦ 22.06	12	19.0	0.89	18.43≦m≦ 19.57
大腿囲(右)	cm	12	57.1 (51.3)	2.25	55.67≦m≦ 58.53	12	57.5	3.89	55.03≦m≦ 59.97
下腿囲(右)	cm	12	39.5 (53.7)	1.57	38.50≦m≦ 40.50	12	37.6	2.19	36.21≦m≦ 38.99
足首囲(右)	cm	12	23.2	0.77	22.71≦m≦ 23.69	12	21.5	1.47	20.57≦m≦ 22.43
皮下脂肪厚 上腕背部	mm	12	8.7	1.84	7.53≦m≦ 9.87	12	13.9	3.62	11.60≦m≦ 16.20
肩甲下部	mm	12	6.5	4.09	3.90≦m≦ 9.10	12	10.4	2.22	8.99≦m≦ 11.81
上腕前部	mm	12	5.2	2.30	3.74≦m≦ 6.66	12	7.50	2.99	5.60≦m≦ 9.40
上胸部	mm	12	4.7	3.11	2.72≦m≦ 6.68	12	6.50	1.71	5.41≦m≦ 7.59
臍部	mm	12	9.3	5.75	5.65≦m≦ 12.95	12	10.17	4.16	7.53≦m≦ 12.81
腸骨棘部	mm	12	6.1	4.48	3.25≦m≦ 8.95	12	8.33	3.97	5.81≦m≦ 10.25
大腿部	mm	12	5.4	3.07	3.45≦m≦ 7.35	12	7.58	2.78	5.81≦m≦ 9.35
下腿部	mm	12	4.5	2.29	3.05≦m≦ 5.95	12	6.67	2.87	4.85≦m≦ 8.49

c：形態、機能両面の特徴をつかむための指数値

(イ) 形態指数

比体重、比胸囲、比座高、ローレル指数、リビー指数を算出した。

(ロ) 周囲径指数

周囲径指数は、上腕囲／前腕囲、大腿囲／下腿囲として算出した。

(ハ) 除脂肪周径

右上腕囲、右前腕囲、右大腿囲、右下腿囲各周囲径と、それぞれの皮脂厚から算出し、右上腕周径、右前腕周径、右大腿周径、右下腿周径とした。

(ニ) 皮脂厚指数

皮脂厚指数は、測定部位の皮脂厚の同一部位の周囲径に対する割合で、右前腕部／右前腕囲、右前腕部／右前腕囲、右大腿前上部／右大腿囲、右下腿背部／右下腿囲とし、パーセントで表示した。

(ホ) 機能指数機

能指数は、比握力（握力kg／体重kg×100）比背筋力（背筋力kg／体重kg）、バルウイン指数（背筋力kg／身長cm×100）、ドライヤー指数（肺活量cc／体重g×10³）、ハッチンソン指数（肺活量cc／身長cm）とした。

(ヘ) 体力、運動機能指数について

体力および運動機能指数は、跳能力指数（立ち幅とび距離cm×体重kg）、垂直とび能力指数（垂直跳び距離kg×体重kg）とした。

結果と考察

ミュンヘン・オリンピック競泳選手、水球選手、バレーボール選手およびハンドボール選手について。（表1＝前頁）

毎年、文部省から、体力、運動能力の調査結果が報告されているが、これには今回著者らのハンドボール選手に行なった項目の記載が欠けている。

また、一流選手との比較をおこなう場合、ことに、トレーニングの効果や処方を考えるときには不備な点が多いように考えられる。

そこで、対照群としては第20回オリンピック大会（ミュンヘン）に出場した水球選手男子12名（以下W・Pと略記）、競泳選手女子11名（以下 Swim と略記する）、バレーボール選手男子、女子12名（以下Mu.V.Bと略記する）をとった。

これら対照群のモントルオール・オリンピックハンドボール日本代表選手(以下Mo.H.B)と略記するに対して実施したと同一測定項目の平均値（$\bar{x}$）、標準偏差（s）は表2に示すとおりである。（表1は日本体育協会スポーツ科学研究報告・第20回ミュンヘンオリンピック日本代表選手体力測定報告、

〔表 3〕 男子選手の体力運動能力および12分間走の平均値

示標 ＼ 統計事項	単位	N	$\bar{x}$	S	$\leqq m \leqq (\alpha = 0.05)$
握力（左）	kg	10	49.1	5.37	45.26 ≦ m ≦ 52.94
握力（右）	kg	10	59.4	4.41	56.25 ≦ m ≦ 62.55
背筋力	kg	11	141.2	18.28	128.92 ≦ m ≦ 153.48
垂直とび	cm	11	63.4	5.49	59.71 ≦ m ≦ 67.09
反復横とび	Times	12	50.7	3.54	48.45 ≦ m ≦ 52.95
上体おこし	Times	12	22.6	1.89	21.40 ≦ m ≦ 23.80
体前屈	cm	11	12.8	7.06	8.06 ≦ m ≦ 17.54
立ち幅とび	cm	11	251.00	15.63	240.50 ≦ m ≦ 261.50
シャトル・レース	sec	11	9.2	0.26	9.03 ≦ m ≦ 9.37
ボール投げ	m	12	40.9	2.29	39.44 ≦ m ≦ 42.36
肺活量	cc	11	5310.9	571.8	4926.78 ≦ m ≦ 5695.02
12分間走能力	m	12	3067.67	146.49	297.59 ≦ m ≦ 3160.75

〔表 4〕 女子選手の体力・運動能力および12分間走の平均値

示標 ＼ 統計事項	単位	N	$\bar{x}$	S	$\leqq m \leqq (\alpha = 0.05)$
握力（左）	kg	12	36.9	4.88	33.80 ≦ m ≦ 40.00
握力（右）	kg	12	40.1	4.00	37.56 ≦ m ≦ 42.64
背筋力	kg	11	107.5	16.61	96.34 ≦ m ≦ 118.66
垂直とび	cm	11	47.6	4.38	44.66 ≦ m ≦ 50.54
反復横とび	Times	12	47.0	1.92	45.78 ≦ m ≦ 48.22
仰臥上体おこし	Times	11	22.1	1.14	21.33 ≦ m ≦ 22.87
立位体前屈	cm	11	17.1	3.22	14.94 ≦ m ≦ 19.26
立ち幅とび	cm	11	209.0	10.64	201.85 ≦ m ≦ 216.15
シャトル・レース	sec	12	10.0	0.39	9.75 ≦ m ≦ 10.25
ボール投げ	m	12	34.1	0.95	33.50 ≦ m ≦ 34.70
肺活量	cc	12	3480.0	292.9	3293.90 ≦ m ≦ 3666.10
12分間走能力	m	12	2886.27	176.97	2767.49 ≦ m ≦ 3005.05

昭47から引用）

一、体格の測定結果について

モントリオール・オリンピック出場の男子および女子選手の体格の平均値（$\bar{x}$）、標準偏差（s）は表2（25頁）に示すとおり

二、体力の測定結果について

男子および女子選手の体力の平均値（$\bar{x}$）、標準偏差（s）は表3、表4に示すとおりである。

三、形態指数、皮脂厚指数、機能指数、周囲径指数、機能指数および除脂肪周径の平均値（$\bar{x}$）、標準偏差（s）は表5、表6、表7（27、28頁）に示すとおりである。

四、運動能力指数について

男子および女子選手の跳能力（立ち幅とび距離（cm）×体重（kg））、垂直とび能力（垂直とび距離（cm）×体重（kg））は表8（29頁）に示すとおりである。

これらの結果から、男子選手ならびに女子選手についてみると、次のようなことが考えられる。

男子選手について

ミュンヘン・オリンピック・ハンドボール選手を基準とした同大会に出場した水球選手、ハンドボール選手およびモントリオール・オリンピック出場のハンドボール日本代表選手のTースコアをみると図1（30頁）に示すとおりである。

(ｱ) 体格について

身長ではW・P選手はMu.H.B選手の値よりも小さいが胸囲はMu.H.B選手、Mo.H.Bよりも大きい。V・B選手の身長、体重、座高、胸囲は他のいずれのチームの選手よりも大きい。いっぽう、Mo. H. B 選手は、座高においてMu.H.B選手の値よりもやや低値を示している。Mo.H.B選手は、ミュンヘン大会時よりも大型化している傾向がみられるが、まだ、V・B選手ほどではないようである。

(イ) 周囲径についてで

W・Pは上腕囲がMu.H.B選手よりもきわめて高値を示しているにもかかわらず前腕囲やとくに大腿囲、下腿囲は低値を示しているまた、V・B選手は、上腕囲ではMu.H.B選手の値とほとんど差がみられない、しかし、Mo.H.B選手やW・P選手などよりかなり小さいようである。いっぽう、Mu.H.B選手では、上腕囲、前腕囲はきわめて高い値を示し、上肢はミュンヘン大会当時の選手よりも大きくなっていることがうかがえるが、大腿囲、下腿囲はMu.H.B選手よりも高い値を示しているものの差はわずかである。

(ウ) 体力について

W・P選手は握力（左）の値がMu.H.B選手とほとんど差がないものの、握力(右)、背筋力、垂直とびの値が低く、とくに、背筋力垂直とびの値はきわめて低く、体力はMu.H.B選手よりも劣るものと推測される。

これをバレーボール選手についてみると、握力(右)を除く各示標においてMu.H.B選手よりも高い値を示し、ことに、垂直とびにおいては、いちぢるしく高い値を示し、種目特性を示しており、バレーボール選手の体力要素の1つであることがあらわれている。

いっぽう、Mo.H.B選手についてみるに、握力(右)、垂直とび、反復横とびの能力はMu.H.B選手とほとんど差はみられないが一般に[15)16)]、筋力は筋断面積に比例するとされていることから考えるとMo.H.B選手では上腕囲、前腕囲ともMu.H.B選手よりかなり高い値であるにもかかわらず、握力（右）、(左）とも高値を示してないことはMo.H.B選手の身体組成に差があるのか、測定時における力の発揮が充分でない可能性があるのか、この調査結果からは判定しにくい。

また、今回の測定値では、背筋力がMu.H.B選手やV・B選手よりも低値を示している。これは、測定期日がオリンピック・アジア予選の直前にあり、背筋力測定で腰部を痛めることを懸念し、選手各人が全力を発揮しなかったことにも起因するものと推測される。このためかMo.H.B選手の比背筋力は異常に低い値となっているようである。

なお、敏しょう性を示す反復横とびで、Mu.H.B選手、Mo.H.B選手ともに、V・B選手およびW・P選手よりかなり劣っている点は、体力のバランスという面から考える場合ハンドボールの特性であろうが、改善されるべき特性の1つのようである。

(エ) 指数値について

比体重、比胸囲、比背筋力（背筋力(kg)／体重(kg)、ローレル指数では、比体重、比胸囲ともMu.H.B選手の値より、W・P選手、V・B選手Mo.H.B選手の値が高い値を示しているものの、比背筋力では各群とも低い値を示している。ローレル指数でV・B選手が低い値であるのは、競技特性による体力要素である高身長であることによると考えられる。

女子選手について

ミュンヘン・オリンピック・バレーボール選手(V・B)を基準と

〔表5〕男子および女子選手の形態指数ならびに機能指数の平均値

		統計事項 / 示標	N	x̄	S	≦m≦（α＝0.05）
男子	形態指数	ローレル指数	12	133.8 (68.4)	10.41	127.19 ≦m≦ 140.41
		比体重	12	43.4 (62.0)	2.79	41.63 ≦m≦ 45.17
		比胸囲	12	53.3 (56.1)	2.31	51.83 ≦m≦ 54.77
		比座高	12	53.6	1.07	52.92 ≦m≦ 54.28
		リビー指数	12	49.99	1.27	49.09 ≦m≦ 50.71
	機能指数	比握力	10	7.01	0.65	0.65 ≦m≦ 0.75
		比背筋力	11	1.81 (36.0)	0.28	1.62 ≦m≦ 2.00
		バルウイン指数	11	78.37	10.17	71.18 ≦m≦ 85.56
		ドライヤー指数	11	67.34	7.72	62.15 ≦m≦ 72.23
		ハッチンソン指数	11	294.56	32.36	272.82 ≦m≦ 316.30
女子	形態指数	ローレル指数	12	133.8 (54.7)	10.41	127.19 ≦m≦ 140.41
		比体重	12	38.7	3.32	36.59 ≦m≦ 40.81
		比胸囲	12	52.9	1.26	52.10 ≦m≦ 53.70
		比座高	12	54.5	0.75	54.03 ≦m≦ 54.97
		リビー指数	12	51.43	0.83	50.90 ≦m≦ 51.96
	機能指数	比握力	12	6.14	0.73	5.68 ≦m≦ 6.602
		比背筋力	11	1.74 (44.4)	0.29	1.55 ≦m≦ 1.93
		バルウイン指数	11	66.04	9.78	59.47 ≦m≦ 72.61
		ドライヤー指数	12	55.54	5.74	51.89 ≦m≦ 59.19
		ハッチンソン指数	12	213.39	16.07	203.18 ≦m≦ 228.60

〔表6〕男子選手の周囲径指数除脂肪周径および皮脂厚指数の平均値

	示標＼統計事項		N	$\bar{x}$	S	≦m≦（α＝0.05）
周囲径指数	上腿囲／前腕囲		12	1.06	0.04	1.05≦m≦ 1.07
	大腿囲／下腿囲		12	1.45	0.05	1.42≦m≦ 1.45
除脂肪周径	上腕囲	cm	12	277.77	10.88	270.55≦m≦284.99
	前腕囲	cm	12	266.66	10.44	259.73≦m≦273.59
	大腿囲	cm	12	554.32	19.46	541.40≦m≦567.22
	下腿囲	cm	12	380.70	12.95	372.11≦m≦389.29
皮脂厚指数	上腕背部／上腕囲		12	2.99	0.61	2.60≦m≦ 3.38
	前腕部／前腕囲		12	1.73	1.03	1.01≦m≦ 2.45
	大腿前上部／大腿囲		12	0.94	0.50	0.62≦m≦ 1.26
	下腿背部／下腿囲		12	1.13	0.52	0.81≦m≦ 1.45

〔表7〕女子選手の周囲径指数，除脂肪周径および皮脂厚指数の平均値

示標＼統計事項			N	$\bar{x}$	S	≦m≦（α＝0.05）
周囲径指数	上腕囲／前腕囲		12	1.14	0.04	1.12≦m≦ 1.16
	前腕囲／手首囲		12	1.49	0.06	1.47≦m≦ 1.51
	大腿囲／下腿囲		12	1.53	0.05	1.50≦m≦ 1.66
	下腿囲／足首囲		12	1.79	0.13	1.71≦m≦ 1.87
除脂肪周径	上腕囲	cm	12	243.49	9.93	236.90≦m≦250.08
	前腕囲	cm	12	224.44	8.10	219.04≦m≦229.78
	大腿囲	cm	12	550.51	34.88	527.36≦m≦573.66
	下腿囲	cm	12	355.39	18.64	343.02≦m≦367.76
皮脂厚指数	上腕背部		12	4.59	1.72	3.50≦m≦ 5.68
	前腕部		12	2.66	0.66	2.24≦m≦ 3.08
	大腿前部		12	1.31	0.44	1.03≦m≦ 1.59
	下腿背部		12	1.75	0.70	1.31≦m≦ 2.19

した、同大会出場の競泳選手（S・W）およびモントリオール・オリンピック・ハンドボール選手（Mo.H.B）のT－スコアは図1（30頁）に示すとおりである。

(ア) 体格について

図2に示すように、身長、体重座高、胸囲のうち、胸囲はV・B選手とほとんど差はみられないが他示標においてはきわめて低い値であり、Mo.H.B選手は、V・B選手よりも体格において劣っているようである。身長や胸囲はS・W選手とほとんど同程度である。

(イ) 周囲径について

図2に示すように、上腕囲、前腕囲、大腿囲、下腿囲では、前腕囲にややV・B選手より低いT－スコアを示しているが他示標では優れている。なお、S・W選手では、V・B選手やMo.H.B選手より下肢周囲径がはるかに低い値であることは競技特性とはいえ形態的なアンバランスを示しているようである。

(ウ) 体力および肺活量について

図2に示すように体力示標である握力(右、左)背筋力、垂直とび反復横とびについてみると、握力(右、左)においては、V・B選手より高い値を示しているものの背筋力、垂直とび、反復横とびは低値を示している。

ことに、ハンドボール競技選手の体力要素では反復横とびの能力

はどの競技より優れているものと推測され、このことがハンドボール競技の必要条件の一つにもなると考えられたのであるが、今回の測定からはV・B選手のほうが高値であり、Mo.H.B 選手の体力の劣性が考えられる。

また、肺活量においても選手より低値を示し、劣っている。

(エ) 比体重、比胸囲、ローレル指数、比背筋力について

比体重、比胸囲、ローレル指数はV・B選手より高い値を示しているが、比背筋力は低値であり、背筋力の弱さがうかがえる。

まとめ

以上のように、モントリオール・オリンピック日本代表のハンドボール男子および女子選手について他種目の選手と対比しながら検討した結果をまとめてみると、

(1) 男子選手について、座高、握力(左)、背筋力、比背筋力では、ミュンヘン・オリンピック・ハンドボール日本代表選手よりも低値を示している。モントリオール・オリンピックに出場したハンドボール選手は、ミュンヘン・オリンピック日本代表選手の体力よりもすぐれているものの、しかしながら、同大会に出場した、バレーボールの日本代表選手の体力と比較すると、上腕囲、立位体前屈およびローレル指数がややすぐれているのみで他示標は低値を示し、体力的にも劣っている傾向が推測される。

(2) 女子選手についてみると、モントリオール・オリンピックに出場した日本ハンドボール選手の体格、体力はミュンヘン・オリンピック・バレーボール女子選手と比較して、身長、体重、座高、背筋力、垂直とび、反復横とび、比背筋力に低値を示している。ことに、周囲径（上腕囲、大腿囲、下腿囲）においては高値を示しているものの、体力では劣性が推測される。

このことから、今後のハンドボール選手の養成についてみるに、多角的な体力要素をもった選手の発掘と適性指導が必要となろう。すなわち、ハンドボールの現役大型選手の養成とともに、ほかの種目選手の中にあってハンドボール競技的な体格、体力または、運動機能を有した選手の発掘と同時にトレーニング処方および方法の開発が急務であると考える。

おわりに

この調査は熊本大学体質医学研究所形態学研究部の多数のスタッフの協力によりなされたことを付記するとともに、深く感謝する次第である。

また、この結果を細部にわたり検討され、ハンドボール選手の育成および強化に役立てていただくことを深く念じます。

参考文献

(1) スポーツ科学委員会、第18回東京オリンピック日本選手体力測定結果、財団法人日本体育協会一九六四。
(2) スポーツ科学委員会、第19回メキシコオリンピック日本選手体力測定結果、財団法人日本体育協会、一九六八。
(3) スポーツ科学委員会、第20回ミュンヘン・オリンピック日本選手体力測定結果、財団法人日本体育協会、一九七二。
(4) 中出、相浦、石井：ハンドボール投げの解析、体育学研究：日本体育学会第22回大会号、二四一（昭四六）
(5) 渡辺、広田、滝沢、青山、北川、横山、ハンドボール選手の体力、技術の相関分析、体育学研究：日本体育学会第22回大会四七六号、（昭四六）
(6) 平木、馬場、中出、相消、望月、北岡、田中、山崎、竹野、岡本、高山、鈴木：ハンドボール選手の体力の評価に関する研究(その2)、体育学研究：一四(5)一九七（昭四五）
(7) Joint Research Group：A Study on International Standardization of Physical Fitness Lest（ReportⅢ).1966 Ministry of Education, Japan.
(8) 文部省体育局：昭和48年度体力・運動能力調査実施要項（昭四七）
(9) 名取礼二、横堀栄、小川義雄、木村邦彦：最新体力測定法、同文書院、東京、p二一～一三三昭四五。
(10) 飯塚鉄雄、日丸哲也、永田晨、中西光雄、岩崎義正、磯川正教、日本人の体力標準値、東京都立大学身体適性学研究室、不昧堂東京、三〇七～三六六、昭五〇
(11) 新立義文：成人女子の加齢による形態の変化に関する研究その T：上腕囲、前腕囲、手首囲、大腿囲、下腿囲と皮脂厚の変化について、体質医研報、第二六巻三・四号、二〇一～二一三、昭五一
(12) 新立義文：成人女子の加齢による形態の変化に関する研究、その2、成人女子の上腕囲／前腕囲、大腿囲／下腿囲および皮脂／厚周囲径の加齢による変化について、体質医研報、第二六巻、三・四号、二一四～二二一昭五一。
(13) 長尾愛彦、沢田芳男、今井義量、有江醇子、小郷克敏、土井礼記、伊達鎌二、ガーナ成人男子の体格、体力について、熊本大学アフリカ現地人体質学術調査報告書、三五～四〇、昭四九
(14) 古城勲：体力図形による体力の標示に関する研究第1報、体力図形からみた農村学童の体力について、体質医研報、一四(1)：一～二〇、昭三八。
(15) 吉村寿人、高木健太郎、猪飼道夫編：生理学大系Ⅸ、適応協関の生理学、医学書院、東京。

〔表8〕男子および女子選手の運動能力指数の平均値

性	示標 ＼ 統計事項		N	$\bar{X}$	S	≦m≦（α＝0.05）
男子	跳　能　力	kg.m	11	196.75 kg.m	19.608	183.58≦m≦ 209.92
	垂直とび能力	kg.cm	11	49.58 kg.cm	471.00	4623.96≦m≦5292.03
女子	跳　能　力	kg.m	11	117.68 kg.m	36.03	93.48≦m≦ 141.88
	垂直とび能力	kg・cm	11	29.98 kg.cm	433.0	2706.21≦m≦3282.25

（昭四五）。
(16) 小郷、沢田、今井、有江、長尾、伊達、土井：熊本大学アフリカ現地人体質学術調査報告書　その1（昭四九）。

図1　ハンドボール日本代表選手のT―スコア（男子）

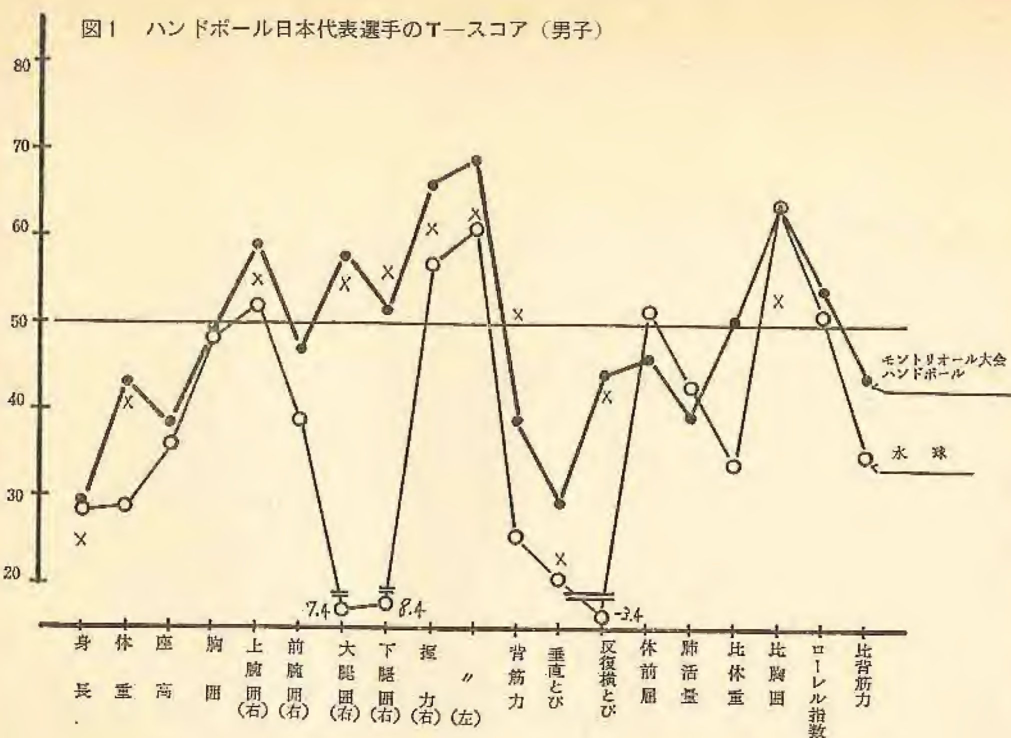
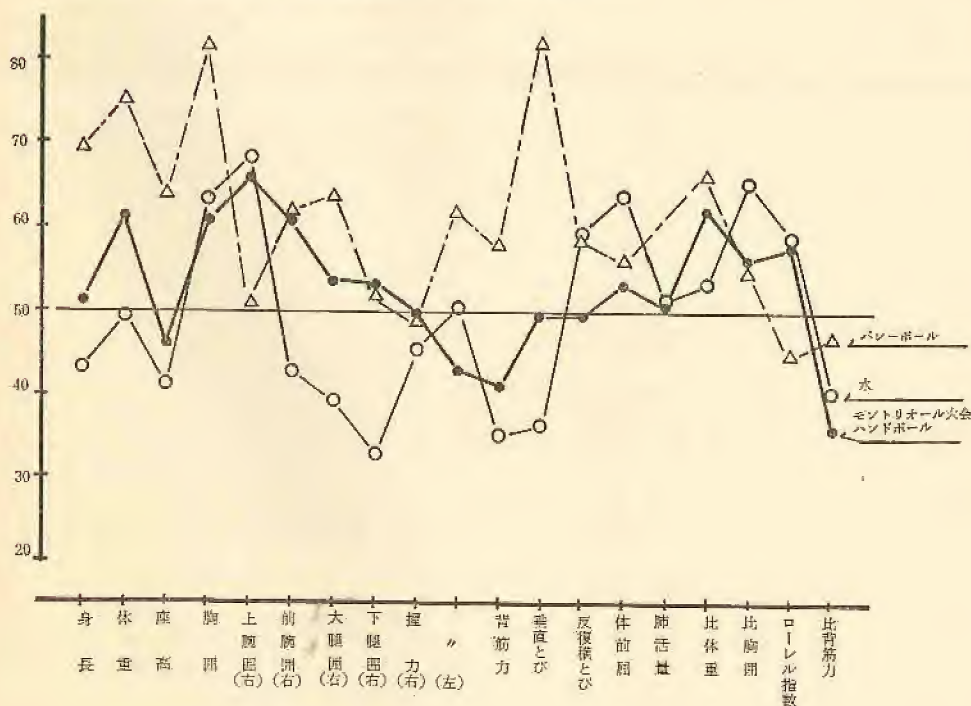


図2　ハンドボール日本代表選手のT―スコア（女子）



世界へはばたけ日本のハンドボール

（協賛者御方名・順不同）

男・佐世保ク、女・京都ク優勝

静岡で全国クラブ大会開く

日ごろ全国的な活躍の場が少ないクラブチームのためにと、静岡協会が主管した第1回全国クラブ大会静岡大会は日本協会など後援のもとに7月16、17の両日静岡県営草薙体育館（16日は静岡市民体育館）で行われ、男子は18都府県22クラブ、女子は5県6クラブが参加した。

▽男子1回戦

SKC（東京）19（9―10、10―5）15 気賀ク（静岡）
青森ク（青森）14（5―4、9―4）8 鵜の森ク（三重）
清商ク（静岡）18（11―7、7―3）10 仙台育英ク（宮城）
セブンスターズ（三重）19（11―8、8―9）17 七戸ユニオンズ（青森）
鹿行ク（茨城）21（8―5、13―8）13 初芝ク（大阪）
雪陵ク（大阪）33（16―7、17―6）13 前橋ク（群馬）

▽同2回戦

徳山ク（山口）38（21―15、17―8）23 SKC
氷見ク（富山）18（14―11、4―4）15 青森ク
高知ク（高知）30（16―6、14―7）13 鹿行ク
和商ク（和歌山）18（8―8、10―4）12 光陽会（福井）
清商ク 13（8―8、5―4）12 新居浜ク（愛媛）
AOK栃木（栃木）11（4―4、7―6）10 セブンスターズ
雪陵ク 10（6―6、4―1）7 修道ク（広島）
佐世保ク（長崎）39（20―7、19―9）16 高山ク（岐阜）

▽同準々決勝

氷見ク 15（5―9、10―4）13 徳山ク
高知ク 19（6―3、13―7）10 和商ク
AOK栃木 12（6―2、6―4）6 清商ク
佐世保ク 19（7―6、12―4）10 雪陵ク

▽同準決勝

高知ク 21（9―5、12―11）16 氷見ク

得	【高知】		【氷見】	得
0	安芸	GK	上野	0
0	松高		矢田部	0
2	稲田	FP	大野	0
0	青木		関	1
7	沢田		高橋	2
2	細木		坪川	4
5	酒井		沢武	1
4	武田		海下	0
0	有光		浦野	7
0	中山		石山	0
1	山下	（審・沢野、寺田）	三国	1
0	伊藤		中山	0
21	（0）	PT	（4）	16

佐世保ク 14（5―8、9―4）12 AOK栃木
（テーブルは下段）

▽同決勝

佐世保ク 20（9―7、11―7）14 高知ク

得	【佐世】		【栃木】	得
0	神山	GK	菊地政	0
0	市木		丸山	0
0	本田	FP	佐藤	0
1	山高秀		藍場	0
0	山高良		島田	3
4	山高邦		宮田	1
1	末永		左藤	0
2	浜野		福田	0
0	園田		菊地美	4
2	山添	（審・石河、佐藤）	柳沢	0
4	小浜		岩下	2
0	尾崎		坂本	2
14	（2）	PT	（2）	12

得	【佐世】		【高知】	得
0	神山	GK	安芸	0
0	市木		松高	0
0	本田	FP	武田	1
3	山高秀		酒井	5
9	山高邦		細木	2
1	末永		沢山	1
0	山高良		青木	0
3	浜野		稲田	5
2	山添		有光	0
2	小浜	（審・井上、細沢）	中山	0
0	園田		山下	0
0	尾崎		伊藤	0
20	（3）	PT	（2）	14

○……佐世保はAOK、高知は氷見とそれぞれ準決勝で〝クラブ界〟の名門を破っての進出。

2日間4試合、しかも30度を越す高温多湿の館内であったが両チームとも元気いっぱい、白熱した。

佐世保は15分までに浜野（日体大出）の活躍で8―3と大差をつけたが、高知も20分すぎ稲田、酒井（日体大出）で6―8と迫った。しかし、佐世保はこのあと山高邦（早大出）が連続3ゴールしたのが、結果的には勝因になった。

高知は後半13分13―14まで追いあげたのだが、どうしても同点にはとどかず、終盤は力つきた。

平均年令で4才の差がある佐世保が最後までよく走り、その〝若さ〟が優勝の力といえた。

ベスト4の所属県は、いずれも強力実業団のいない所。クラブ界の消長を物語るようで興味深い。

静岡城北ク、惜しくも2位

▽女子1回戦（2試合）

浜南ク（静岡）25（13―8、12―6）14 おおがきク（岐阜）
静岡城北ク（静岡）7（4―3、3―3）6 あすなろク（青森）

▽同準決勝

京都ク（京都）18（10―2、8―2）4 浜南ク

得	【京都】		【浜南】	得
0	上島	GK	村松	0
2	山崎	FP	鈴木孝	2
3	川崎		曽布川	1
0	森		鈴木さ	0
3	山本		榎谷	0
1	金森		小池	0
3	船橋		中村	1
1	中井		河野	0
5	岩本	（審・野口、宮田）	藤田	0
18	（1）	PT	（1）	4

静岡城北ク 11（5―0、6―2）2 笠松ク（岐阜）

得	【城北】		【笠松】	得
0	長田	GK	松井	0
0	牧田			
5	山本	FP	川出	0
0	小島		安藤	1
1	海野		田島	1
0	寺田		多田	0
1	宮原		小野	0
3	大山		中橋	0
0	栗田昌		堀江	0
0	山田	（審・井上、細沢）		
1	栗田明			
0	藤浪			
11	（3）	PT	（0）	2

▽同決勝

京都ク 8（4―2、4―5）7 静岡城北ク

【城北】		得
GK	長田	0
	牧田	0
FP	山本	4
	大山	2
	小島	0
	栗田明	1
	海野	0
	宮原	0
	寺田	0
	栗田呂	0
	松川	0
	山田	0

【京都】		得
GK	上島	0
FP	山崎	2
	岩本	4
	山本	0
	川崎	2
	森	0
	金森	0
	船橋	0
	中井	0

8 (1) PT (3) 7

(審・吉田、久保田)

○……京都・岩本、静岡・山本と両エースが持てる技術を存分に発揮、なかなか見応えがあった。

静岡は前半、二木のPTと大山の活躍で先行したが、京都は後半4分川崎で同点(5—5)。

このあとともに決め手のないまま残り10分にすべてがかかった。

先手は静岡が16分栗田明でとったが、京都は早いパスワークで静岡防禦陣のすきをつき、山本の連続ゴールで逆転、23分川崎がダメを押した。

静岡は最後まで粘り、残り25秒1点差としたが、惜しくも及ばなかった。

来年7月に第2回大会

この大会に参加した男女各チームの代表者会議が7月16日静岡市民体育館で開かれ、次のような話し合いをまとめた。

この会議には日本協会・勝繁夫普及指導担当理事も出席した。

一、第2回大会を来年7月、3日間の日程で静岡市で開催する。

一、参加チームは各都道府県代表制を採り、男子32チーム、女子8チームを予定する。

一、参加チームは「日本協会A登録」とし、各都道府県で予選会を開くのが望ましい。

一、参加チームは審判有資格者を必ず同行すること。

このほか、この大会をクラブの「全日本選手権大会」に発展させたいとする意見や、この種大会を同年度内に二~三ケ所で開く案とその各勝者を集めてチャンピオンを決める「クラブ王座大会」の提案なども出された。

〝熱意〟が問題点を克服

片瀬喜代次

男子は〆切日になって申しこみチームが殺到したため整理しきれず予定より6チーム多い22チームが参加、第1日に3試合というチームもできてしまった。

しかし、参加チーム側の情熱と理解で、この面も了解を得られ、史上初の全国クラブ(男子)大会の幕をあけることができた。

大会前々日あたりから暑さがうなぎのぼりとなり、その中で夜10時近くまで競技を強行するスケジュールは、選手の健康管理に苦慮をした。

また、地元審判員の不足と経費節約のため、出場選手が流れる汗をふきふき、5分間のインタバルに審判着に着かえ、次の試合のレフェリーを担当するという異例な全国大会でもあった。

競技日程発表の遅れから、列車の切符手配が間にあわず、飛行機で参加したチームや、勤めを終えてから夜のフェリーボート夜行列車、新幹線を乗り継いではせ参じた選手など、第1回大会を待ちこがれた胸中をそこにみることにもなった。

このような苦労を乗りこえての参加だけに各クラブ、各選手ともプレーは真けんそのもの、点差が開いても最後まで頑張ろうという気持ちがゲームの随所にみられた。

しかし、このように選手がエキサイトしても他の大会に見られるような緊張感や、必要以上の興奮ぶりはなく、選手同士の口喧嘩や小ぜりあいはまったく見られなかった。

〝審判員〟もA・B級ばかりではなく、判定の中には不満な点が相当あったと思われるが、それでも監督、選手から文句は一つも出ず、実に和気あいあい、なごやかなうちに競技は進められた。

流れでる汗をふきながら、ハンドボールの味を存分に楽しみ、充分にかみしめているような選手たちの姿をみて、私は、純粋のハンドボール愛好者だけによるクラブチームの良さを、しみじみと感じた。

また、試合に負け帰りを急ぐチームからも、必ず審判が出て協力して下さったことは、主管者として感謝にたえず、同時に頭のさがる思いだった。

幸い、心配した熱いけいれんなどもおきず、擦過傷を負った選手が2名記録されただけで、万一のことを思ってかけた傷害保険がムダになったことも、嬉しいことであった。

高校界、学生界で活躍した選手とインターハイにも出場しなかった無名選手、あるいは職業の異なる者同士が、一つのクラブを結成し、寸暇をみてはハンドボールに親しみ、練習した成果を、貴重な休暇をさいて、全国的な大会の雰囲気を楽しむために参加して下さった全チーム全選手に改めて感謝するものです。(大会委員長・静岡協会理事長)

ハンドボールカレンダー　9月の日程

オールスターズゲーム・学生東西対抗が、華やかに幕あけを告げて、いよいよ秋のシーズン　例年のことながら学生界がその主役。

新進・国士館を迎えた関東は24日に熱戦の火ぶたを切る。

いつもなら、今月上旬は、東北ミニ国体をはじめ、各ブロックの選手権や国体予選が並ぶが今年は、国体(青森)が早いためすべて8月に終了、ラインアップがいささか淋しくなっている。

15日(木・祭)▽第27回(女子第9回)全日本学生選抜東西対抗戦(男＝15時30分、女＝14時・京都府立体育館)

24日(土)▽関東学生秋季リーグ男女1部第1日。早稲田×国士館、筑波×日体、日大×慶応、中央×法政、(女)日体×学芸、日女体×筑波(13時・駒沢屋内球技場)

27日(火)▽関東学生秋季リーグ男女1部第2日。中×慶、筑×国、(女)日女体×筑波、日体×学芸(男＝18時、女＝11時55分・駒沢体育館)

28日(水)▽関東学生秋季リーグ男女1部第3日。日×法、早×体、(女)東女体×学芸、日体×日女体(男＝18時、女＝13時・駒沢体育館)

九州大、勝ち抜く

第27回九州地区大学体育大会ハンドボール競技(男子のみ)は7月15日から17日まで福岡・九州産業大学体育館を主会場に20大学が参加してトーナメントで行われ、九州学生1位(5月)の九州産大、西部日本学生1位(6月)の福岡大ら優勝候補が相次いで敗れ、決勝は九州大×鹿児島大のダークホース同士の顔合せから、九州大が栄冠を獲得した。

▽1回戦

沖縄国際大	22	13―8	9―2	10	久留米工大
琉球大	16	7―5	9―9	14	長崎大
宮崎大	棄権				九州共立大
福岡大	23	12―7	11―1	8	熊本大

▽2回戦

沖縄国際大	21	12―8	9―8	16	九州産大
長崎造船	16	7―8	9―6	14	九州工大
熊本商大	18	10―6	8―5	11	福岡工大
九州大	22	13―2	9―7	9	琉球大
鹿児島大	25	12―6	13―3	9	宮崎大
大分大	30	18―3	12―8	11	東和
西南学院	28	15―4	13―8	12	熊本工大
福岡大	18	10―5	8―12	17	福岡教大

▽準々決勝

沖縄国際大	18	9―2	9―4	6	長崎造船
九州大	21	13―6	8―1	7	熊本商大
鹿児島大	16	11―2	5―8	10	大分大
西南学院	21	11―12	10―7	19	福岡大

▽準決勝

九州大	13	4―2	9―7	9	沖縄国際大
鹿児島大	16	8―4	8―6	10	西南学院

▽3位決定戦

西南学院	26	13―9	13―10	19	沖縄国際大

▽決勝

九州大	17	7―5	9―7	12	鹿児島大

【九大】	得		【鹿大】	得
野村	0	GK	小林	0
金子	0	GK		
藤野	4	FP	亀沢	2
久保	2	FP	坂本	3
伊藤	1	FP	園田	2
都合	3	FP	門脇	3
馬場	0	FP	篠崎	0
土井	4	FP	永田	1
青柳	0	FP	児玉	0
福山	2	FP	二子石	0
浅田	0	FP	甲斐	0
臼井	1	FP	浜田	1
	17 (2)	PT	(1)	12

○……小柄だが全員脚力のある鹿児島はポスト、フェイントなどを小気味よく決め、前半15分5―2と好スタートだったが、九大は20分すぎからロングを決めて形勢を逆転、後半5分には12―8とリードした。そのあと両校とも切れ味に欠け、特に鹿児島は立ちあがりの元気を取り戻せなかった。

（日野　博）

阪大が4度目の優勝
国立8大学大会

第21回国立8大学大会(第16回国立7大学総合体育大会ハンドボール競技)は、7月25日から29日までの5日間、豊中市の大阪大学体育館で熱戦をくりひろげた。

参加選手は実に210名。名大の31名を筆頭に各チームとも25名をこす陣容で、最少の東大でも18名という私立大学にはまったく羨しい部員数である。

競技はリーグ戦で行われ、関西学生1部の貫禄を示した大阪大が他校を寄せつけず7戦全勝、2年ぶり4度目の優勝を飾った。

2位は神戸大が前年度優勝の九州大を破ってつき、名大、京大なども健闘して西日本勢が1位から5位までを占めた。

阪大	24	―	14	東北大
神戸大	23	―	13	東大
九大	16	(分)	16	北大
名大	18	―	14	京大
阪大	22	―	8	東大
神大	17	―	13	北大
九大	12	―	10	東北大
東北大	12	―	10	名大
阪大	25	―	13	北大
神大	12	―	8	東北大
九大	20	―	9	東大

（深江幸次郎）

名大 16—12 北大
阪大 20—13 京大
名大 19—12 東大
北大 21—9 東北大
神大 15（分）15 京大
京大 15—14 東北大
阪大 28—6 名大
京大 26—16 東大
名大 11—6 神大
九大 17—16 京大
北大 18—8 東大
九大 19—16 名大
京大 14—12 北大
東大 14—12 東北大
神大 16—14 九大
阪大 21—10 神大
阪大 31—17 九大

【順位】①阪大7戦全勝②神大4勝1分2敗③九大4勝1分2敗④名大4勝3敗⑤京大3勝1分3敗⑥北大2勝1分4敗⑦東大1勝6敗⑧東北大1勝6敗

（注）同勝率は当該チームの勝敗で順位を決定

東京学芸大が男女優勝

全国教育系大学大会

第8回（女子第7回）全国教育系大学ハンドボール大会は、8月14日から17日まで大阪市中央体育館に、男子6、女子5校が参加してリーグ戦で行われ、男子は東京学芸大が2年ぶり5度目、女子も東京学芸大が第1回以来7連勝と記録を伸ばした。

▽男子
京都教大 20—9 宮城教大
大阪教大 19—13 愛知教大
東京学芸大 32—10 奈良教大
愛知教大 18—14 京都教大
京都教大 19—15 宮城教大
京都教大 14—13 大阪教大
宮城教大 22—16 奈良教大
東京学芸大 25—17 大阪教大
東京学芸大 20—14 愛知教大
大阪教大 26—8 奈良教大
東京学芸大 23—7 宮城教大
京都教大 21—12 奈良教大
宮城教大 16—15 大阪教大
京都教大 11（分）11 東京学芸大
愛知教大 30—10 奈良教大

【順位】①東京学芸大4勝1分②京都教大3勝1分1敗③愛知教大3勝2敗④宮城教大・大阪教大2勝3敗⑥奈良教大5勝

▽女子
京都教大 6—5 大阪教大
愛知教大 19—0 奈良教大
東京学芸大 14—8 京都教大
京都教大 32—4 奈良教大
大阪教大 13—11 愛知教大
東京学芸大 8—7 大阪教大
愛知教大 14—5 京都教大
東京学芸大 29—4 奈良教大
東京学芸大 9—8 愛知教大
大阪教大 27—6 奈良教大

【順位】①東京学芸大4戦全勝②愛知教大・大阪教大・京都教大2勝2敗⑤奈良教大4敗

全日本学連会長に就任して

内海　倫

全日本学生ハンドボール連盟の役員の方から、会長に就任して欲しいという要請を受けたときは、まさしく〝晴天のへきれき〟といった感じでした。何故って、私はハンドボールがどんなスポーツなのか僅かに新聞のスポーツ欄でかいま見る程度以上に何も知りませんし、また、三十五年間もの長い間、固い役人生活をしていた男であっておよそスポーツなどとは関係のない男だったからです。再々お断わりしましたが、是非貴方にという役員の方々の熱意にほだされ、やむを得ず、関係の方々の全員の賛成があり、かつ、私の〝無知識〟をお認めの上でならばという条件で再考を約しました。その後、私の友人の日本体育協会理事の青木半治さんにも相談してついに意を決し、このたびお引受けすることにしました。こんな訳ですから、果して関係の皆さんの期待にそえるかどうか私には、全く自信がありません。

しかし、私もふりかえって見ますと、その種類こそ異なれ、学生スポーツに全く縁のないものではないようです。

もう四十数年も前になりますが旧制の高校時代には、その青春の総てを捧げて柔道に熱中しましたもし私に旧制高校の思い出があるとすれば、それは血と汗にまみれて練習に熱中し、敗れてくやし涙を流し、勝って、勝利の盃をあげた感激であります。私の人間形成に何が一番大きな影響を与えているかといえば矢張りその学生時代の柔道一図に過ごしたものの中から得たものであると思っております。

このような点から言えば、時代は、大きく隔たり、変ってはいますが、学生スポーツの意義だけは今日も十分に理解しているといってよかろうと思っています。

もう一つ、敢えてスポーツとの関係をいわせて貰うならば、それは東京で開催されたオリンピック大会のことであります。その開催を準備するまでの数年間、警視庁の交通部長という立場で体協の方々と連日論議を重ねました。お蔭で、今日でも体協関係の多くの方々と親しくしています。大会開催の頃は、その現職を去っておりましたが、マラソンの当日は、任地から上京して来て、選手団の後陣について自動車で全コースを走りました。感激の一日だったことと今でも思い出します。

昔話ばかりいたしました。今の私は、下手の横好きのゴルフをする程度で、あとは、時々に放映されるスポーツ番組を見る程度です。その中では矢張り学生スポーツが一番楽しく、かつ爽快です。一切の利害を超えてスポーツそのものに没入している学生諸君の姿はまことにさわやかで美しいものに見えます。

私も幸いに、もう一度学生スポーツにかかわる機会を与えられました。皆さんと共に若返って、真の学生らしいスポーツの育成の蔭の役を果したいと思います。

どうか日本ハンドボール協会ではじめ関係各位の御支援を下さるようお願い申しあげます。

関東学連会長に菅氏

関東学連は、西敏郎氏の逝去（51年7月）によって空席の会長にこのほど明大OB・菅浦一氏（平和農産工業社長、明大OB会長、56才）を迎えることになり、8月はじめ正式発表した。

世界へはばたけ日本のハンドボール

（協賛者御芳名・順不同）

美津濃 adidas 特約店
昌永スポーツ
甲府市中央四丁目桜りアーケード街

高級帯地
一秀
京都市上京区堀川通今出川下ル西側
西陣産業会館内
TEL（075）431—0147

京都染色資材株式会社
出野勝志
京都市中京区壬生大竹町54
TEL（075）811—5531

スプリンター・スターレットの
トヨタオートヤサカ株式会社
本社　京都市中京区壬生仙念町５番地
TEL（075）802—0151(大代表)

全道一を誇るスポーツ用品専門店
（株）スポーツハウス
釧路営業所　釧路市北大通10丁目
（23）—1526

松の寿司
植田和子
（清水市立商業高等学校ハンドボール部３年生）
清水市銀座１番３号　TEL66—3063

塩山病院
山梨県塩山市上於曽

株式会社　加藤組
代表取締役　加藤　憲
函館市千才町３—２

鳥のデパート＜鳥料理＞
たぐち会館
田口欽一（旧姓　湯山）
（昭45日本体育大学ハンドボール部卒業）
静岡県清水市銀座12番12号

ソニービデオとトリニトロンカラーの専門店
寿電化サービス
代表者　川口　攻
山梨県甲府市宝２丁目27—14
電話　0552—26—0319

技術と経験で奉仕する店
望月スポーツ
釧路市錦町５—１ 電(23)—7255
支店くしろデパートスポーツコーナー　電(24—4721

たのしく学ぶ　明るい学園
学校法人　花園学園
梅花幼稚園
静岡県清水市南岡町３—８

地場産業に貢献する
奥山不動産
代表取締役　奥山仙治郎
甲府市丸の内２丁目14—３
電話(0552)24—3265・5698

株式会社　松本組
取締役社長　松本演之
本社　函館市吉川町４番30号
札幌支店　札幌市北区37条西４丁目安田ビル５F

茂津目精肉店
茂津目勝仁
（静岡県清水南高男子ハンドボール部父母の会顧問）
静岡県清水市桜ケ丘54　TEL0543—52—1951

上田茂行

山梨県ハンドボール協会
会長　植野　保

山梨県ハンドボール協会
副会長　天川正次

能登・和倉温泉
政府登録 国際観光旅館　加賀屋
石川県七尾市和倉温泉・TEL大代表(076762)2111

株式会社　函館小型運送
本社営業所　函館市西桔梗町589番地
（流通センター内）
電話(0138)代表49—5131
札幌連絡所　札幌市白石区菊水元町73
電話（011）861—8178

ブロック高校選手権

男子で静岡農初の栄冠　東海

第24回東海高校選手権は6月25・26の両日四日市市に各県代表男女8チームづつが参加して行われ、男子は静岡農(静岡)が準決勝で優勝候補にあげられていた名南工(愛知)を延長の末に破り、加納(岐阜)との決勝も後半一気に逆転する勢いを示し初優勝した。静岡代表の優勝は5年ぶり4度目。

女子は市邨学園(愛知)が清水商(静岡)を前半で引き放し「市邨」としては初、名女商時代を通算すると8年ぶり3度目のタイトル獲得となった。

▽男子1回戦

名南工(愛知) 14 (7-4, 7-6) 10 桑名西(三重)

静岡農(静岡) 14 (6-6, 8-6) 12 大垣工(岐阜)

清水商(静岡) 14 (8-5, 6-4) 9 四日市工(三重)

加納(岐阜) 16 (6-5, 10-6) 11 三好(愛知)

▽同準決勝

静岡農 18 (3-0, 3-2 … 6-6, 6-6) 14 名南工

加納 12 (6-4, 6-7) 11 清水商

▽同3位決定戦

清水商 15 (7-5, 8-4) 9 名南工

▽同決勝

静岡農 21 (15-4, 6-7) 11 加納

▽女子1回戦

岩津(愛知) 12 (6-3, 6-4) 7 尾鷲(三重)

清水商(静岡) 14 (7-2, 7-3) 5 県岐阜商(岐阜)

二俣(静岡) 6 (1-1, 5-2) 3 津女子(三重)

市邨学園(愛知) 17 (6-4, 11-1) 5 富田女(岐阜)

▽同準決勝

清水商 10 (4-2, 6-3) 5 岩津

市邨学園 5 (2-2, 3-2) 4 二俣

▽同3位決定戦

岩津 14 (9-8, 5-5) 13 二俣

▽同決勝

市邨学園 15 (7-4, 8-3) 7 清水商

男女とも愛媛勢が圧倒的　四国

第26回四国高校選手権は7月22・23の両日高知県・土佐高グランドに男女各8チームが参加して行われた。

男子は愛媛勢が強味をみせ、新居浜工×松山東の決勝から新居浜工が快勝、2年連続22度目の優勝を遂げた。

女子も新居浜商×新居浜東の愛媛同士の決勝となり新居浜商が後半逆転に成功、7年ぶり5度目の優勝を飾った。

▽男子1回戦

高松商(香川) 13－11 土佐(高知)

松山東(愛媛) 15－9 池田(徳島)

坂出工(香川) 19－16 城北(徳島)

新居浜工(愛媛) 22－7 幡多農(高知)

▽同準決勝

松山東 14 (8-5, 6-3) 8 高松商

新居浜工 21 (9-1, 12-5) 6 坂出工

▽同決勝

新居浜工 20 (13-5, 7-2) 7 松山東

▽女子1回戦

新居浜東(愛媛) 7－4 中芸(高知)

辻(徳島) 9－7 高松南(香川)

新居浜商(愛媛) 14－0 城北(高知)

三本松(香川) 5－3 池田(徳島)

▽同準決勝

新居浜東 11 (7-3, 4-2) 5 辻

新居浜商 10 (7-1, 3-3) 4 三本松

▽同決勝

新居浜商 4 (4-1, 0-2) 3 新居浜東

熊本市立、女商を制す　九州

第27回全九州高校大会は7月24・25日宮崎県体育館などに男女各16チームが参加して行われた。

男女ともインターハイ各県代表校が倒れる波乱つづきとなったが結局、男子は久留米工大付(福岡)が呼び声高かった小倉西(福岡)を振り切って2連勝、女子は熊本同士の争いから熊本市立が熊本女商を降した。

これで、今年度のブロック高校選手権はすべて終了した。

▽男子1回戦

鶴崎工(大)24－19小林工(宮)

神埼農(佐)19－18大矢野(熊)

佐世保西(長)27－10都城商(宮)

小倉西(福)19－8鹿児島工(鹿)

佐賀農(佐)29－14都城工(宮)

熊本一工(熊)20－11隼人工(鹿)

浦添(沖)28－16長崎工(長)

久工大付(福)25－11大分東(大)

▽同準々決勝

鶴崎工 23 (14-13, 9-6) 19 神埼農

小倉西 19 (8-6, 11-4) 10 佐世保西

熊本一工 29 (11-9, 18-4) 13 佐賀農

久留米工大付 32 (11-9, 21-10) 19 浦添

▽同準決勝

久留米工大付 16 (9-5, 7-5) 10 熊本一工

小倉西 25 (11-8, 14-7) 15 鶴崎工

▽同決勝

久留米工大付 14 (4-7, 10-6) 13 小倉西

▽女子1回戦

大分東(大)10－3浦添商(沖)

熊本女商(熊)11－5鹿屋女(鹿)

神埼農(佐)15－1佐世保商(長)

延岡(宮)7－2筑紫中央(福)

熊本市立(熊)14－9島原農(長)

別府青山(大)16－5都城商(宮)

東海大五(福)16－6佐賀東(佐)

小林商(宮)7－4国分実業(鹿)

▽同準々決勝

熊本女商 9 (6-2, 3-5) 7 大分東

延岡 8 (5-3, 3-2) 5 神埼農

熊本市立 10 (2-4, 8-5) 9 別府青山

東海大五 11 (7-5, 4-5) 10 小林商

▽同準決勝

熊本女商 13 (7-1, 6-0) 1 延岡

熊本市立 10 (5-2, 5-3) 5 東海大五

▽同決勝

熊本市立 5 (2-4, 3-0) 4 熊本女商

神戸市に初の栄冠

5大都市大会

第15回5大都市ハンドボール大会（第28回5大都市体育大会ハンドボール競技・男子のみ）は7月16、17の両日名古屋市のプラザー工業体育館で行われ、リーグ戦の結果、神戸市が初優勝した。（注・神戸市は37年の予備大会では優勝）

これで優勝経験のない市は京都だけとなった。

名古屋 15（8−2、7−8）10 横浜
神戸 21（10−5、11−4）9 京都
大阪 19（10−9、9−5）14 横浜
神戸 19（8−5、11−7）12 名古屋

得	【神戸】		【名古屋】	得
0	大谷	GK	上原	0
0	坂部	GK	山本	0
0	畑	FP	加藤	1
0	中村	FP	斉藤	1
1	坂本	FP	飼沼	1
0	森本	FP	三宅	3
7	松岡	FP	布垣	1
2	浜田	FP	小川	0
0	西川	FP	細川	3
2	北田	FP	渡辺	0
1	前渕	FP	清崎	1
6	笹野	FP	溝部	1
19	(2)	PT	(2)	12

（審・内田、松尾）

京都 15（8−6、7−5）11 大阪
神戸 27（15−4、12−11）25 横浜
名古屋 22（10−6、12−6）12 大阪
横浜 17（8−7、9−6）13 京都
神戸 21（9−6、12−10）16 大阪
名古屋 22（12−2、10−8）10 京都

【順位】①神戸4戦全勝②名古屋市3勝1敗③大阪市1勝3敗④横浜市1勝3敗⑤京都市1勝3敗（同率は得失点差で順位を決定）

日本リーグ勢 辞退で活気

○……国内唯一のインター・シティトーナメントとしてユニークな存在のこの大会が、今年からさらに特色を一つ加えた。

日本リーグ所属選手のシャットアウトである。

去年、横浜での代表者会議で、長時間の論議のすえにこぎつけたものだが、〃結果〃は、最近10年大同特殊鋼中心の名古屋市と、湧永薬品（現広島）主力の大阪市が持ち廻っていた優勝の栄冠を、神戸市が初めて獲得。「どこにも優勝のチャンスのある大会に」という狙いをみごとに実らせた。

○……『各市とも張り切っていました。その中での優勝、市民ハンドボールに力を注いできた我々にとって意義深いことです。』と神戸市の西村与八マネは喜ぶ。

他の4市関係者も、今回の行きかたには、おおむね満足の様子で『はじめから優勝をあきらめてた去年までとは大ちがい。それなりに内容度も上がった』（横浜・芦川勝英監督）とまでいう。

○……総合優勝争いの有力得点源を失ったハズの名古屋市体協（事務局）も『もともと、この大会は不健康になりがちな大都市市民の健康増進が狙い。

勝負はどちらかといえば二の次なのですからハンドボールの新方針、結構じゃないですか』と歓迎の様子だし、まずはこのモデルチェンヂ、成功とみていい。

この調子で国体も——という声は強いのだが、こちらのほうは、まだまだ〃市民スポーツ〃とか〃底辺〃とかには大会の性格や各県の利害がからんで縁遠そうである

各地の記録

日本ビクターが3連勝

第24回関東選手権は8月20、21日の両日、横浜・三菱重工金港体育館に8県の予選勝者が集まり、女子のみトーナメントで行われた。

1回戦で、日本リーグ同士の日本ビクター（茨城）×日立栃木（栃木）が対戦、日立の健闘からもつれたが、ビクターは後半地力を発揮して勝ち進み、決勝では久々に進出した大崎電気（埼玉）に完勝、3年連続4度目の優勝を飾った。

例年同時に行われる男子は実施されなかった。

▽1回戦
大崎電気（埼玉）25（12−4、13−3）7 日川ク（山梨）
日本ビクター（茨城）12（4−4、8−2）6 日立栃木（栃木）
東京重機（東京）33（12−1、21−1）2 前橋ピジョンズ（群馬）
全神奈川ク（神奈川）15（11−2、4−7）9 水郷ク（千葉）

▽準決勝
大崎電気 10（3−3、7−4）7 東京重機
日本ビクター 26（13−7、13−2）9 全神奈川ク

▽決勝
日本ビクター 14（6−2、8−3）5 大崎電気

四国男子は高知ク

第25回四国選手権（男子のみ）は8月21日松山・丸善石油体育館で行われ、高知クが2連勝。

▽準決勝（＝1回戦）
高知ク（高知）24（10−4、14−10）14 瀬戸ク（香川）
松山ク（愛媛）22（9−5、13−10）15 海上自衛隊徳島

▽決勝
高知ク 25（11−9、14−8）17 松山ク

プラザ一勝つ（速報）日本リーグ女子で優勝を争っているプラザー工業（愛知）とジャスコ（三重）が8月27日第29回東海選手権と国体代表権をかけて対戦、第2延長。11−10でプラザーが勝った

海自下総、辛くも首位

▼千葉県実業団夏季リーグ（7月・三井石油千葉体育館ほか）

▽1部

海自下総 棄権 出光千葉
海自下総 26―8 東電千葉
出光千葉 22―13 三井石油化学
東電千葉 16（分）16 出光千葉
三井石油化学 17―16 丸善石油
丸善石油 17―9 東電千葉
丸善石油 14―11 海自木更津
海自下総 32―12 海自木更津
三井石油化学 17―8 海自木更津
出光千葉 19―15 海自木更津
三井石油化学 21―14 東電千葉
三井石油化学 18―9 海自下総
海自下総 12―11 丸善石油
出光千葉 14―13 丸善石油
東電千葉 16―12 海自木更津

【順位】①海上自衛隊下総4勝1敗②三井石油化学千葉4勝1敗③出光石油千葉3勝1分1敗④丸善石油千葉2勝3敗⑤東京電力千葉1勝1分3敗⑥海上自衛隊木更津航空補給所5敗

【2部順位】①日産石油化学6戦全勝②陸上自衛隊下志津5勝1敗③海上自衛隊館山4勝2敗④陸上自衛隊第一ヘリ団3勝3敗⑤ヤトロン⑥陸上自衛隊空挺団⑦東洋サッシ工業

▽1・2部入れ替え戦（リーグ）

日産石油化学（2部①）18―14 海自木更津（1部⑥）
陸自下志津（2部②）棄権 東京電力千葉（1部⑤）
海自木更津 21―19 陸自下志津
日産石油化学 棄権 東電千葉

日産石油化学と陸上自衛隊下志津が1部へ昇格

岩手教員、盛岡商友会制す

▼第29回岩手県民体育大会ハンドボール競技（7月・花巻）

▽成年男子1部決勝リーグ

盛岡商友会 29―20 白亜ク
岩手教員ク 27―17 盛岡商友会
岩手教員ク 39―13 白亜ク

▽同2部トーナメント準決勝

盛岡ク 23―6 志高ク
岩手大 17―6 花巻ク

▽同決勝

盛岡ク 18―6 岩手大

▽同女子決勝

全岩手 14（6―2、8―1）3 三英芙会

▽高校男子準々決勝

一関工専 19―10 久慈
釜石南 11―6 盛岡三
盛岡商 17―8 盛岡四
花巻北 12―5 盛岡一

▽同準決勝

釜石南 10―7 一関工専
花巻北 7―6 盛岡商

▽同決勝

花巻北 18（5―1、13―4）5 釜石南

▽同女子準々決勝

黒沢尻南 13―0 久慈
平館 6―2 岩手女
花巻南 11―2 盛岡二
花巻北 8―1 釜石商

▽同準決勝

平館 6―1 黒沢尻南
花巻南 9―2 花巻北

▽同決勝

花巻南 9（4―2、5―1）3 平館

一般男子は笠間ク快勝

▼茨城県民体育大会ハンドボール競技（6月・東海村原研ほか）

▽一般男子準々決勝

笠間ク 13―6 新治ク
竜ケ崎ク 8―6 筑波ク
茨城高専 9―3 武器校
土浦三高OB 8―7 千代田ク

▽同準決勝

笠間ク 17―10 竜ケ崎ク
土浦三高OB 24―20 茨城高専

▽同決勝

笠間ク 23（13―3、10―7）10 土浦三高OB

▽高校男子準々決勝

笠間 21―6 茨城
岩井 17―7 鉾田一
麻生 24―9 土浦工
土浦三 19―18 江戸崎西

▽同準決勝

岩井 10―9 笠間
土浦三 11―10 麻生

▽同決勝

岩井 17（9―7、7―8）15 土浦三

▽同女子準々決勝

水海道二 26―3 土浦三
笠間 11―10 結城二
太田二 8―6 石岡二
麻生 11―8 磯原

▽同準決勝

水海道二 11―4 笠間
麻生 9（延）6 太田二

▽同決勝

水海道二 15（6―3、9―2）5 麻生

高校は飯南と松江農

▼第2回島根県民体育大会ハンドボール競技（7月・松江工）

▽成年男子準決勝（＝1回戦）

朝酌ク 33―4 温泉津ク
島根町体協 25―9 江津ク

▽同3位決定戦

江津ク 30―5 温泉津ク

▽同決勝

朝酌ク 24（9―4、15―7）11 島根町体協

▽女子決勝

浜田商高 14（8―1、6―4）5 松江ク

▽高校男子3位決定戦

松江商 13―10 松江南

▽同決勝

飯南 17（7―7、10―6）13 松江工

▽同女子3位決定戦

浜田商 10―4 松江女

▽同決勝

松江農 14（5―8、6―3……1―0、2―0）11 松江家政

▼第29回石川県民体育大会ハンドボール競技（8月・金沢）

▽一般男子1部1回戦（1試合）

小松市 35―13 松任市

▽同準決勝

金沢市 25―10 小松市
七尾市 18―13 羽咋市

▽同決勝

金沢市 30（13―4、17―5）9 七尾市

▽同2部決勝

川北村 19―15 津幡町

男女とも守山勢勝つ

▼滋賀県民体育大会ハンドボール競技（8月・彦根東高）

▽一般男子準々決勝

彦根ク 16―10 I・B・M
京都セラミック 18―8 自衛隊大津
高島ク 12―9 日鉄カーテンオール
守山ク 19―4 ダイキン工業

▽同準決勝

高島ク 15―9 京都セラミック
守山ク 18―3 彦根ク

▽同決勝

守山ク 11（5―3、6―4）7 高島ク

▽同女子決勝リーグ

守山ク 7（分）7 大津ク
大津ク 8―7 彦根ク
守山ク 9―2 彦根ク

【順位】①守山ク②大津ク③彦根ク

今月号の編集担当者
久田 暁（本部編集委員会）
杉山 茂（同）

日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』
第一五六号
昭和四十年六月七日[illegible]和五二年八月二十五日印刷
第三種郵便物認可　昭和五二年九月一日発行
発行所
日本ハンドボール協会
[illegible]渋谷区神南一―一―一
[illegible]代表（467）七〇九七
振[illegible]東京五八三四八番
編集兼発行人　荒川清美
特価三百五十円（年間購読料三千三百円）